

Rider's Manual

K 1200 S



BMW Motorrad



駆けぬける喜び

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

フレーム番号

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話番号

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つ BMW Motorrad ライダーの一員となられたことを心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入されたモーターサイクルをよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

BMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になった場合は、BMW Motorrad デイラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

目次

特定の項目についてお探しの際には、巻末の索引もご利用ください。

1 一般的な情報	5	オンボードコンピューターの警告表示 ^{OE}	27	クラッチ	56
全体図	6	ABS 警告表示	29	ブレーキ	57
記号と意味	6	ASC 警告表示 ^{OE}	31	ミラー	58
装備	7	RDC 警告表示 ^{OE}	33	スプリングプリロード	58
仕様 (諸元)	7	DWA 警告表示 ^{OE}	38	ショックアブソーバー	59
本書の記述について	7	4 操作	41	電子調整式サスペンション (ESA) ^{OE}	59
2 全体図	9	イグニッションスイッチとステアリングロック	42	タイヤ	62
左側面	11	電子式イモビライザー	43	ヘッドライト	62
右側面	13	時計	44	シート	63
シート下	14	オドメーター	45	ヘルメットホルダー	64
左側ハンドルのスイッチ	15	オンボードコンピューター ^{OE}	48	ラゲッジループ	65
右側ハンドルのスイッチ	16	タイヤ空気圧コントローラ (RDC) ^{OE}	51	5 走行	67
メーターパネル	17	ライト	52	安全に関する注意事項	68
ヘッドライト	18	ウインカー	53	チェックリスト	70
3 表示	19	ハザードランプ	53	始動	70
標準表示	20	イグニッションキルスイッチ	54	慣らし走行	72
オンボードコンピューターの表示 ^{OE}	22	グリップヒーター ^{OE}	55	ブレーキ	73
タイヤ空気圧コントローラ (RDC) の表示 ^{OE}	22	オートマチックスタビリティコントロール (ASC) ^{OE}	55	駐車する	74
標準の警告表示	22			給油	76

6 技術情報	79	フロントホイールス		ブレーキ	142
ブレーキシステム (BMW		タンド	110	ホイールとタイヤ	143
Motorrad Integral ABS 装		リヤホイールスタンド	112	エンジン電装	145
備)	80	バルブ	113	フレーム	146
エンジンマネジメントシステ		ジャンプスタート	123	寸法	147
ム (BMW Motorrad ASC 装		バッテリー	124	重量	147
備) OE	82	9 お手入れ	129	性能	148
タイヤ空気圧コントロー		ケア用品	130	11 サービス	149
ル (RDC) OE	84	洗車	130	BMW Motorrad	
7 アクセサリー	85	損傷しやすい車両部品の		サービス	150
一般的な情報	86	お手入れ	130	BMW Motorrad サービスク	
電源ソケット	86	塗装のお手入れ	131	オリティ	150
荷物	87	保護コーティング	132	BMW Motorrad サービス	
ケース ^{OA}	88	長期保管	132	ネットワーク	150
修理キット ^{OA}	91	再使用	132	メンテナンス作業	151
8 メンテナンス	93	10 仕様 (諸元)	135	点検記録	152
一般的な情報	94	トラブルシュー		一般整備記録	157
ツールキット	94	ティング	136	BMW Motorrad Recycle....	164
エンジンオイル	95	ネジ止め部	137		
ブレーキシステム一般	97	エンジン	138		
ブレーキパッド	97	燃料	139		
ブレーキフルード	99	エンジンオイル	139		
クラッチ	101	クラッチ	140		
タイヤ	102	ギヤボックス	140		
ホイールリム	102	リヤホイールドライブ	141		
ホイール	103	サスペンション	141		

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
仕様 (諸元)	7
本書の記述について	7

全体図

本書の第2章には、ご使用になられるモーターサイクルの全体図があります。第11章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMWモーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいませようお願いいたします。

記号と意味



ライダーとその周囲の人々の安全のため、また、モーターサイクルを損傷から守るために、必ず注意すべき警告を示します。



モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。



説明のある参照ページを示します。



アクセサリや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク



テクニカルデータ

OE メーカーオプションリスト (BMW が用意するライン装着可能なオプション)

BMW オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA アクセサリ (BMW が用意する後付けアクセサリリスト)

BMW アクセサリのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad デイラーにて承ります。

EWS 電子式イモビライザー

DWA 盗難警報装置

ABS アンチロックブレーキシステム

ASC オートマチックスタ
ビリティコントロール
(ASC)

ESA Electronic Suspension
Adjustment
電子調整式サスペンショ
ン(ESA)

RDC タイヤ空気圧コント
ロール

装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW Motorrad がご用意しているオプション(OE)および選択されているアクセサリー(OA)について説明されています。そのため、あなたのモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承く

ださい。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

Rider's Manual の中で説明されていない BMW 装備品については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

仕様(諸元)

Rider's Manual に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、ドイツ工業規格(DIN)およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

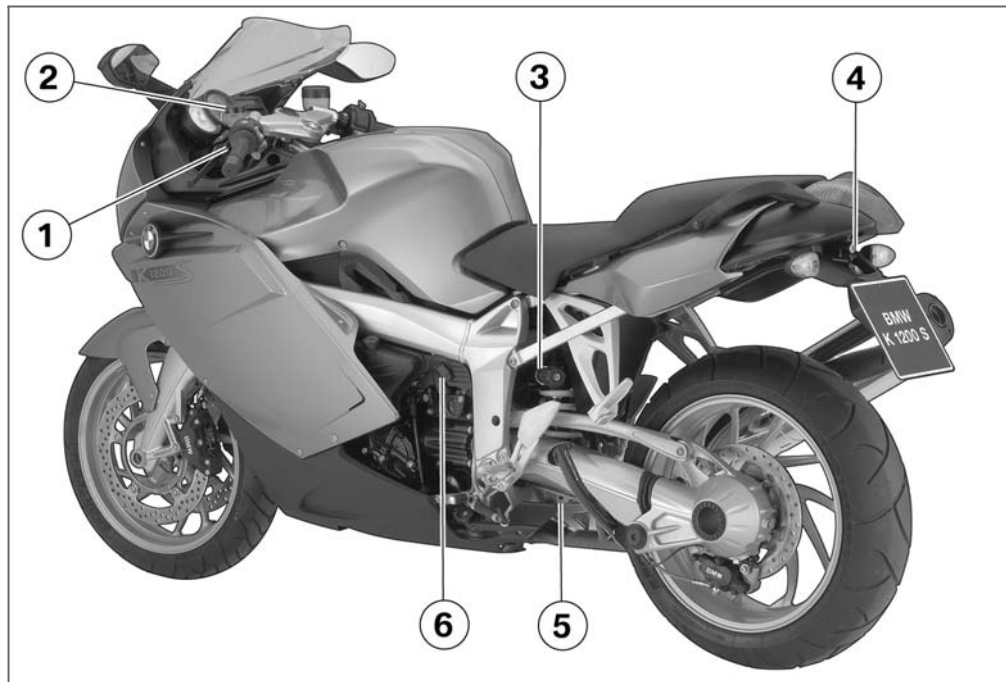
本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルと

は異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

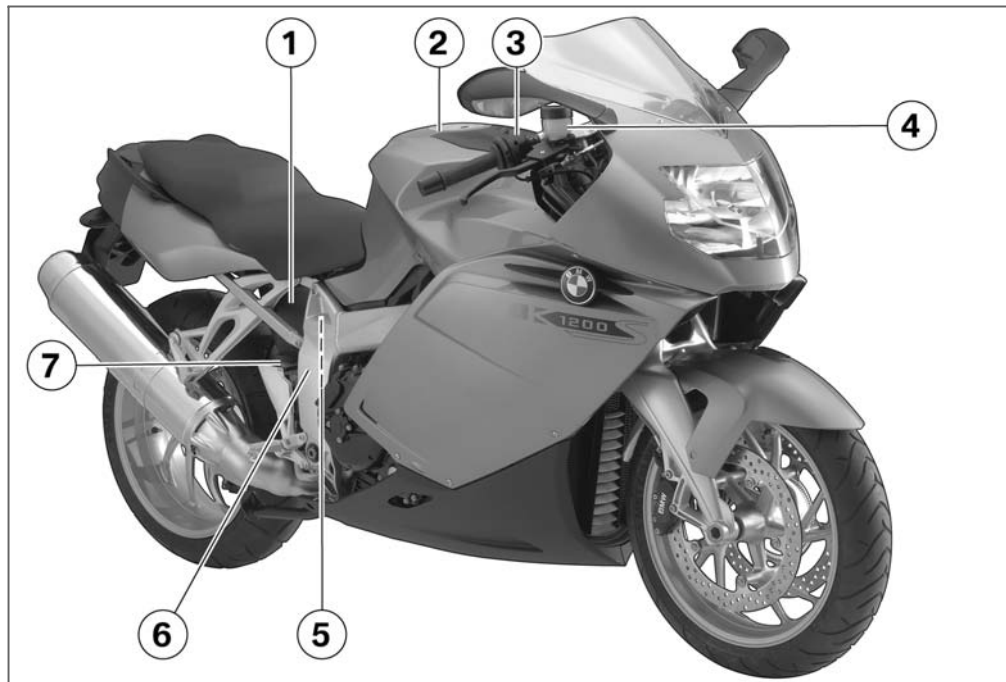
全体図

左側面	11
右側面	13
シート下	14
左側ハンドルのスイッチ	15
右側ハンドルのスイッチ	16
メーターパネル	17
ヘッドライト	18








左側面

- 1 光軸の調整 (メーターパネル下部) (⇒ 63)
- 2 クラッチフルードリザーバータンク (⇒ 101)
- 3 リヤスプリングプリロードの調整 (⇒ 58)
- 4 シートロック (テールライト下) (⇒ 63)
- 5 リヤショックアブソーバーの調整 (⇒ 59)
- 6 電源ソケット (⇒ 86)

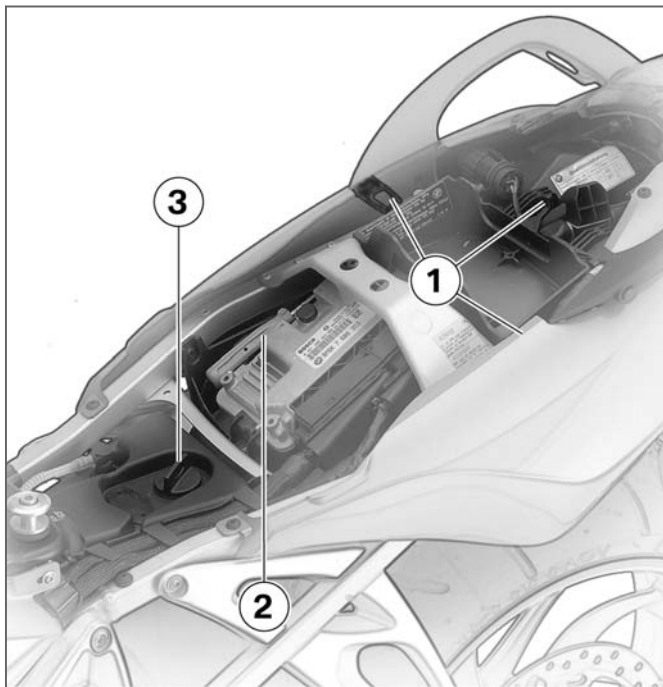


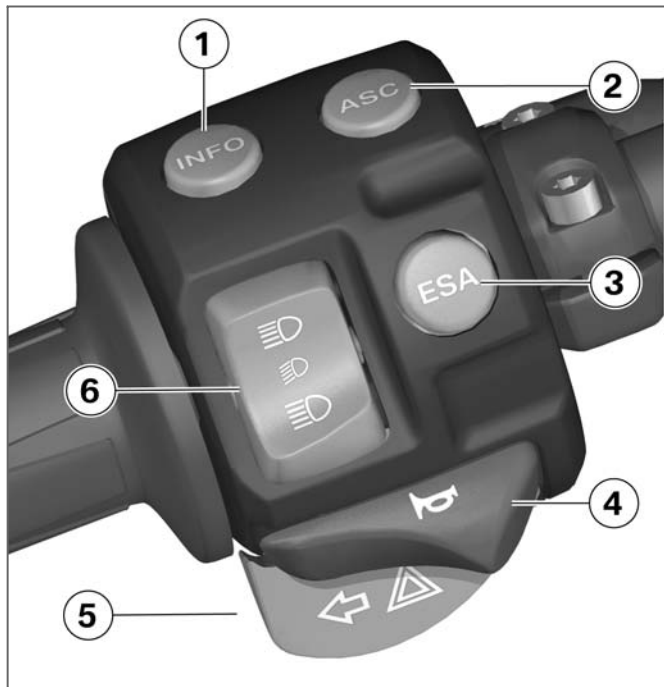
右側面

- 1 エンジンオイルレベル表示
( 95)
- 2 フューエルフィラーネック
( 76)
- 3 バッテリー収納部 ( 126)
- 4 フロントブレーキフルードリザーバータンク ( 97)
- 5 型式プレート (クロスパイプ後部)
- 6 フレーム番号 (右フロントサイドセクション)
- 7 リヤブレーキフルードリザーバータンク ( 100)

シート下

- 1 ヘルメットホルダー
(⇒ 64)
- 2 ツールキット (⇒ 94)
- 3 エンジンオイル注入口
(⇒ 96)



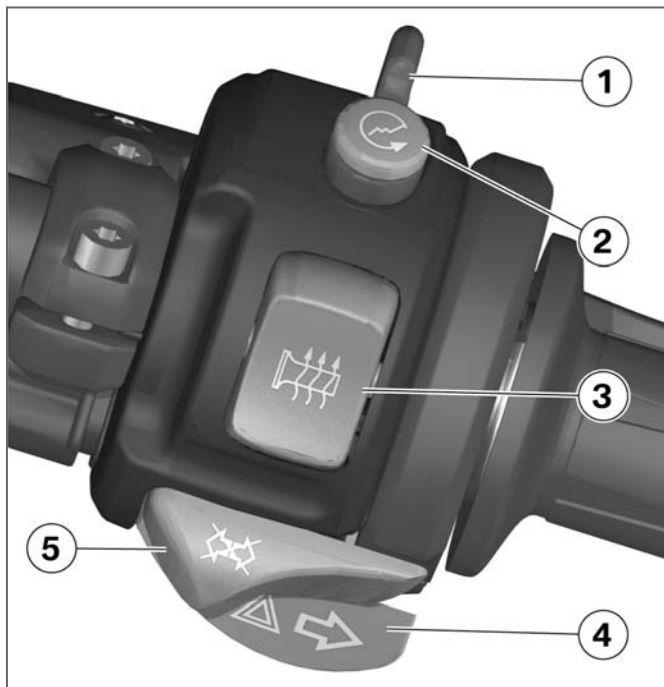


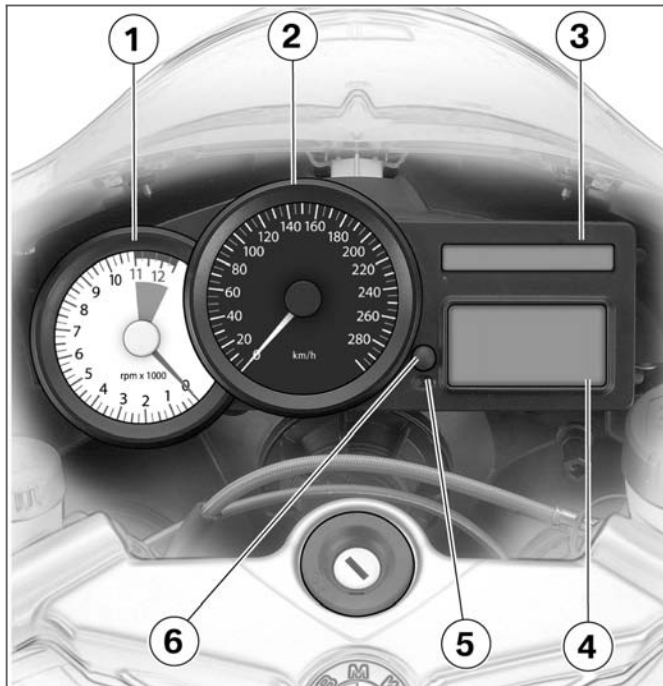
左側ハンドルのスイッチ

- 1 オドメーターの操作
(⇒ 45), オンボードコンピューターの操作^{OE}
(⇒ 48)
- 2 ASC の操作^{OE} (⇒ 55)
- 3 ESA の操作^{OE} (⇒ 59)
- 4 ホーン
- 5 左側ウインカー (⇒ 53),
ハザードランプ (⇒ 53)
- 6 ハイビームとパッシングライト (⇒ 52)

右側ハンドルのスイッチ

- 1 イグニッションキルスイッチ (⇒ 54)
- 2 スターターボタン (⇒ 70)
- 3 グリップヒーターOE (⇒ 55)
- 4 右側ウインカー (⇒ 53),
ハザードランプ (⇒ 53)
- 5 ウインカーキャンセル (⇒ 53), ハザードランプ
キャンセル (⇒ 54)





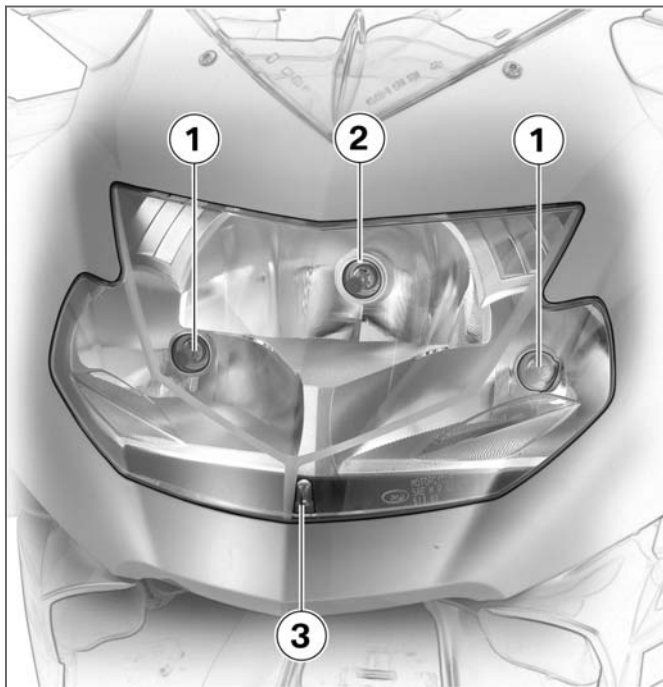
メーターパネル

- 1 タコメーター
- 2 スピードメーター
- 3 インジケーター / 警告灯
(⇒ 20)
- 4 マルチファンクションディスプレイ
スプレイ (⇒ 20)
- 5 DWA 警告灯 (OE) およ
びメーターパネルライトセン
サー
- 6 表示を選択する (⇒ 45)
トリップメーターをリセッ
トする (⇒ 46)
時計を調整する (⇒ 44)

▶ メーターパネルライトに
は、昼夜自動切替え機
能が装備されています。◀

ヘッドライト

- 1 ハイビーム
- 2 ロービーム
- 3 ポジション / パーキング
ライト

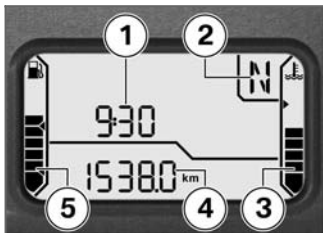


表示

標準表示	20
オンボードコンピューターの表示 ^{OE}	22
タイヤ空気圧コントロール (RDC) の表示 ^{OE}	22
標準の警告表示	22
オンボードコンピューターの警 告表示 ^{OE}	27
ABS 警告表示	29
ASC 警告表示 ^{OE}	31
RDC 警告表示 ^{OE}	33
DWA 警告表示 ^{OE}	38

標準表示

マルチファンクションディスプレイ




- 1 時計 (⇒ 44)
- 2 ギヤ (⇒ 20)
- 3 冷却水温警告灯 (⇒ 20)
- 4 オドメーター (⇒ 45)
- 5 フューエルレベル (⇒ 20)

インジケーター / 警告灯





- 1 左側ウインカー
- 2 ハイビーム
- 3 ニュートラル
- 4 右側ウインカー

フューエルレベル


 フューエルタンクマークの下の横バーは、フューエル残量を示しています。給油後、表示が更新されるまで、それまでの充填レベルが短時間表示されます。

ギヤ

 現在のギヤ設定またはN (ニュートラル) が表示されます。

 ギヤが設定されていない場合には、さらにニュートラルインジケーターが点灯します。

冷却水温警告灯

 温度計マークの下にある横のバーは、クーラント温度を示します。

サービス表示



次回のサービスまでの期間が1ヶ月以内の場合、サービス時期が走行前点検に続いて短時間表示されます。月および年が、ハイフンで分けられて2桁で表示されます。この図の表示は、2007年3月を示しています。



年間走行距離が長い場合には、予定を早めてサービスを実施する状況になることもあります。早めに実施されるサービス用の走行距離が1000 km以内の場合、残りの走行距離が100 km単位で、走行前点検に続いて短時間表示されず。

サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離を示すため、ジェネラル警告灯が黄色く点灯します。サービス表示は継続的に表示されます。

▶ サービス期日まで1ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、または、サービス期日を過ぎるとサービス表示が表示されなくなる場合には、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。
日付の調整に関しては、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◀

オンボードコンピューターの表示^{OE}



- 1 オンボードコンピューターの表示フィールド^{OE}
(⇒ 48)

タイヤ空気圧コントロール (RDC) の表示^{OE}



- 1 タイヤ充填圧 (時刻表示と交互に表示、オンボードコンピューター装備の場合、オンボードコンピューターの追加値として入れ替わりに表示) ^{OE}
(⇒ 51)













標準の警告表示




- 警告は、ジェネラル警告灯 1 と、警告 2 や警告マーク 3 などとの組合せにより表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が、赤または黄に点灯します。複数の警告がある場合は、関連するすべての警告灯および警告マークが表示され、警告が順番に表示されます。
次のページに警告表示の一覧があります。

警告表示一覧

意味

	点灯する (黄)	EWS ! が表示される	EWS 作動 (⇒ 24)
	点灯する (黄)	FUEL ! が表示される	燃料がリザーブ容量に達している (⇒ 24)
	点灯する (赤)	 温度表示が点滅する	クーラント温度が高すぎる (⇒ 24)
	点灯する (黄)	 が表示される	エンジンがエマージェンシーモードになっている (⇒ 24)
	点滅する (赤)	 が表示される	エンジンオイルプレッシャーが不十分である (⇒ 25)
	点灯する (赤)	 が表示される	バッテリー充電が不十分である (⇒ 25)
	点灯する (黄)	LAMPR ! が表示される	リヤライトの故障 (⇒ 26)
		LAMPF ! が表示される	フロントライトの故障 (⇒ 26)
	点灯する (黄)	LAMPS ! が表示される	バルブの故障 (⇒ 26)


EWS 作動

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。


EWS! が表示されます。
使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の通信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
- スペアキーを使用します。
- 故障したキーは、BMW Motorrad デイラーで交換してください。

燃料がリザーブ容量に達している

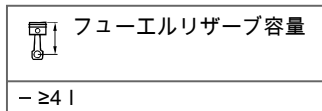
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

FUEL! が表示されます。

 燃料が不足していると、ミスファイアが発生したり、突然エンジンが停止したりします。ミスファイアの発生は触媒コンバーターを損


傷し、エンジンの突然の停止は事故を引き起こすおそれがあります。
フューエルタンクが空になるまで走行しないこと。◀


フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。




- 給油 (➡ 76)

クーラント温度が高すぎる

 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。

 温度表示が点滅します。


 オーバーヒートした状態で走行すると、エンジンの損傷を招くおそれがあります。


必ず下記の処置に従ってください。◀

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。
- 渋滞中はエンジンを停止させます。ただし、ラジエターファンの作動を止めないために、イグニッションは ON のままにしておきます。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンがエマージェンシーモードになっている

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

 エンジンマークが表示されます。



エンジンはエマージェンシーモードで作動します。エンジン出力が低下している場合があり、特に追い越しをかけるときに、危険な走行状態に陥るおそれがあります。低下したエンジン出力に合わせた走行方法にしてください。◀

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンオイルプレッシャーが不十分である



ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。



オイルポットマークが表示されます。

潤滑オイルサーキット内オイル圧が低すぎます。警告灯が点灯したら、直ちに停車してエンジンを切ってください。



エンジンオイルプレッシャーの不足に関する警告は、オイルレベルの点検機能を果たすものではありません。正しいエンジンオイルレベルは、オイルレベル点検窓でのみ点検できます。◀

エンジンオイルプレッシャーが不十分であるという警告の原因は、エンジンオイルレベルが低すぎることにある可能性があります。

- エンジンオイルレベルを点検する (⇒ 95)
- オイルレベルが低すぎる場合：
- エンジンオイルを補充する (⇒ 96)

エンジンオイルレベルが正常な場合：



エンジンオイルプレッシャーが不十分な状態で走行すると、エンジンが損傷するおそれがあります。走行を続けしないでください。◀

- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。


バッテリーチャージが不十分である




ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。



バッテリーマークが表示されます。


 バッテリーが放電すると、突然エンジンが停止し、それにより危険な走行状態に陥るおそれがあります。故障はできる限り早く取り除いてください。◀

 バッテリーの充電を行わずに、そのまま走行を続けた場合、過放電が発生してバッテリーを破損することがあります。できるかぎり走行しないでください。◀


バッテリーが充電されていません。

- バッテリーが空になるまで、走行を続けることは可能です。ただし、エンジンが突然停止し、バッテリーが過放電して破損するおそれがあります。
- BMW Motorrad デイラーにできるだけ早く故障の修理を依頼してください。

リヤライトの故障

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

LAMP R ! が表示されます。


 モーターサイクルのバルブが故障していると、その車両は他の走行車両などから見えにくくなり、危険にさらされることとなります。故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアバルブを常備することをお勧めします。◀

テールライトバルブまたはブレーキライトバルブが故障しています。

- ブレーキライト / テールライトバルブを交換する (⇒ 118)

フロントライトの故障

LAMP F ! が表示されます。


 モーターサイクルのバルブが故障していると、その車両は他の走行車両など

から見えにくくなり、危険にさらされることとなります。故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアバルブを常備することをお勧めします。◀

ロービーム、ハイビーム、ポジション / パーキングライト、ウインカーのいずれかのバルブが切れています。

- ロービームバルブを交換する (⇒ 114)
- ハイビームバルブを交換する (⇒ 116)
- ポジション / パーキングライトバルブを交換する (⇒ 117)
- フロントウインカーバルブを交換する (⇒ 120)
- リヤウインカーバルブを交換する (⇒ 121)

バルブの故障

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

LAMP S ! が表示されます。



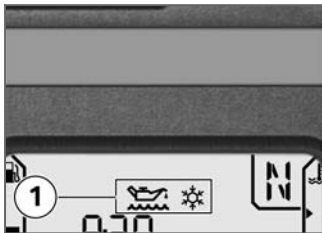
モーターサイクルのバルブが故障していると、その車両は他の走行車両などから見えにくくなり、危険にさらされることとなります。故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアバルブを常備することをお勧めします。◀

バルブの故障が複合して発生しています。

- さらに、前述の詳しい故障説明をお読みください。

オンボードコンピューターの警告表示^{OE}

表示




オンボードコンピューターの警告は、フィールド 1 に表示されます。次のページに警告表示の一覧があります。

警告表示一覧


意味



が表示される

エンジンオイルレベルが低すぎる
( 29)Check Oil が表
示される

が表示される

氷結警告 ( 29)

エンジンオイルレベルが低すぎる



オイルレベルマークが表示されます。

Check Oil が表示されます。電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。

エンジンオイルレベルが正しいかどうかは、オイルレベル点検窓でのみ確認できます。次の燃料補給時に：

- エンジンオイルレベルを点検する (⇒ 95)

オイルレベルが低すぎる場合：

- エンジンオイルを補充する (⇒ 96)

オイルレベル点検窓でオイルレベルが正常であることが確認されたにもかかわらず、ディスプレイに「オイルレベルを点検します」の表示が出る場合には、オイルレベルセンサーが故障している可能性があります。

- BMW Motorrad デイラーに点検を依頼してください。

氷結警告



氷結マークが表示されます。

モーターサイクル付近で測定された外気温度は 3 °C 以下です。



氷結警告には、測定温度時には 3 °C を超えていた路面であっても凍結する可能性のあることが含まれています。

外気温度が低い場合は常に、よく前方に注意して走行してください。橋の上を走行する際や、陰になった暗い路面を走行する際には特に気をつけてください。◀


- よく注意して走行してください。

ABS 警告表示







ABS の警告は、ABS 警告灯 1 により表示されます。

国別仕様により、ABS 警告灯の表示が異なる場合があります。

 国別仕様による。

BMW Motorrad Integral ABS のさらに詳しい情報につきましては、(⇒ 80) ページ以降をご覧ください。警告についての一覧は以降のページにあります。

警告表示一覧

	意味
 点滅する	ABS 自己診断が終了していません ( 31)
 点灯する	ABS の故障 ( 31)

ABS 自己診断が終了していません



ABS 警告灯が点滅します。

自己診断が終了していないため、ABS 機能は使用できません。ABS センサーを点検するには、モーターサイクルを数メートル走行させます。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS の故障



ABS 警告灯が点灯します。

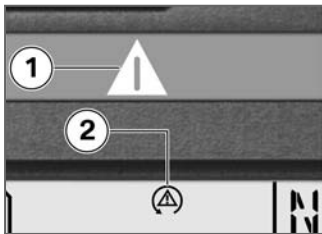
ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続ける場合は、ABS 機能の故障を考慮してください。ABS の故障を引き起こす状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶▶ 81)。

- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 警告表示 OE

表示



ASC 警告は、ASC マーク 2 により、ジェネラル警告灯 1 と組み合わせて表示されます。BMW Motorrad ASC のさらに詳しい情報につきましては、(▶▶ 82) ページ以降をご覧ください。警告についての一覧は以降のページにあります。

警告表示一覧

		意味	
	素早く点滅する (黄)		が表示される ASC 作動 (▶▶▶ 33)
			ゆっくりと点滅する 自己診断が終了していない (▶▶▶ 33)
			が表示される ASC は OFF 状態 (▶▶▶ 33)
	点灯する (黄)		が表示される ASC の故障 (▶▶▶ 33)

ASC 作動



ジェネラル警告灯（黄）が素早く点滅します。



ASC マークが表示されません。

ASC はリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。警告灯は、ASC 制御よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

自己診断が終了していない



ASC マークが点滅します。

自己診断が終了しておらず、ASC 機能は使用できません。ASC 自己診断を終了するため、エンジンを始動させてモーターサイクルを 5 km/h 以上で走行させます。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでは ASC 機能が使用できないことに注意してください。

ASC は OFF 状態



ASC マークが表示されません。

ASC システムは、ライダーによって OFF にされました。オートマチックスタビリティコントロール (ASC) ^{OE} あり:

- ASC 機能を ON にする (▶▶ 56)

ASC の故障



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



ASC マークが表示されません。

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

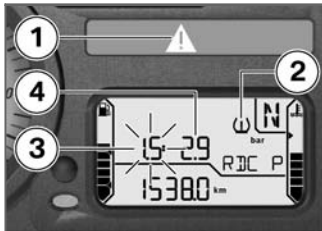
- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できな

いことに注意してください。ASC の故障を引き起こしている状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶▶ 83)。

- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

RDC 警告表示^{OE}

表示










警告マーク 2 はタイヤ充填圧に問題があることを示し、該当するフロントホイールのタイヤ充填圧 3 またはリヤホイールのタイヤ充填圧 4 が点滅します。

値が許容限界域にある場合には、ジェネラル警告灯 1 (黄) が点灯します。測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。

BMW Motorrad RDC のさらに詳しい情報につきましては、(▶▶ 84) ページ以降をご覧ください。警告についての一覧は以降のページにあります。

警告表示一覧

		意味
 点灯する (黄)		タイヤ充填圧が許容限界域にある (⇒ 36)
	タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します	
 点滅する (赤)		タイヤ充填圧が許容範囲外にある (⇒ 36)
	タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します	
	"--" または "-- --" が表示される	伝送障害 (⇒ 36)
 点灯する (黄)		センサーの故障またはシステムエラー (⇒ 37)
	"--" または "-- --" が表示される	
 点灯する (黄)	RDC! が表示される	タイヤ空気圧センサーのバッテリーが弱い (⇒ 37)

タイヤ充填圧が許容限界域にある



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



タイヤマークが表示されません。

タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。
測定されたタイヤ充填圧が許容限界域にあります。

- Rider's Manual 裏表紙の記載に従って、タイヤ充填圧を調整します。



裏表紙の圧力表示は、タイヤ空気温度 20 °C を想定しています。タイヤ温度が異なる場合にもタイヤ充填圧を適合させるため、以下を実施してください：

Rider's Manual に記載されている規定値と RDC システムで求められた数値の偏差を算出してください。タイヤ充填圧を、この偏差分、空気圧テスターを使用して調整してくだ

さい（ガソリンスタンドなどで）。◀

タイヤ充填圧が許容範囲外にある



ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。



タイヤマークが表示されません。

タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。
測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。

タイヤがまだ使用可能な状態の場合：



タイヤ充填圧が適正でないと、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼします。タイヤ充填圧が適正でない場合、必ずその状態に合わせた走行スタイルをとってください。◀

- できるだけ早く、タイヤ充填圧を修正します。
 - BMW Motorrad デイラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。
- タイヤの走行性に関して安全が確認できない場合：
- 走行を続けしないでください。
 - エマージェンシーサービスに知らせます。
 - BMW Motorrad デイラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

伝送障害

"--" または "-- --" が表示されません。

車速が約 30 km/h の境界値を超えていませんでした。RDC センサーは、速度がこの境界値 (84) を超えると信号を発信します。

- RDC 表示を、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警

告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、

- BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器 / システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC 表示を、別の環境 / 状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

センサーの故障またはシステムエラー



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



タイヤマークが表示されません。

"--" または "-- --" が表示されません。

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- ホイールセットに RDC センサーを後付けします。
 - 1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しています。
 - BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。
- システムエラーが発生しています。
- BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ空気圧センサーのバッテリーが弱い



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

RDC! が表示されます。



このエラーメッセージは走行前点検後に短時間表示されます。◀

タイヤ空気圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ空気圧コントロール機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。


DWA 警告表示^{OE}

表示




DWA 警告は、警告 2 とジェネラル警告灯 1 との組合せにより、走行前点検に続いて表示されます。DWA 内蔵バッテリーの容量と関連しています。次のページに警告表示の一覧があります。

警告表示一覧

		意味
	DWALO! が表示される	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 40)
 点灯する (黄)	DWA! が表示される	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 40)

DWA バッテリーが弱っている


DWALO! が表示されます。

 このエラーメッセージは走行前点検後に短時間表示されます。◀


DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

DWA! が表示されます。

 このエラーメッセージは走行前点検後に短時間表示されます。◀

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

操作

イグニッションスイッチとステアリングロック	42	ブレーキ	57
電子式イモビライザー	43	ミラー	58
時計	44	スプリングプリロード	58
オドメーター	45	ショックアブソーバー	59
オンボードコンピューター ^{OE}	48	電子調整式サスペンション (ESA) ^{OE}	59
タイヤ空気圧コントロー ル (RDC) ^{OE}	51	タイヤ	62
ライト	52	ヘッドライト	62
ウインカー	53	シート	63
ハザードランプ	53	ヘルメットホルダー	64
イグニッションキルスイッチ	54	ラゲッジループ	65
グリップヒーター ^{OE}	55		
オートマチックスタビリティ コントロール (ASC) ^{OE}	55		
クラッチ	56		

イグニッションスイッチとステアリングロックキー

キーはマスターとスベアの2本が付属しております。キーを紛失した場合は、電子式イモビライザー (EWS) (⇒ 43)の注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ、ステアリングロック、フューエルタンクキャップ、シートロックは、1本の同じキーで操作できます。

ケースOAあり:
ご要望により、ケースも同じキーで操作するようになります。この件につきましてはBMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◁

イグニッションを ON にする

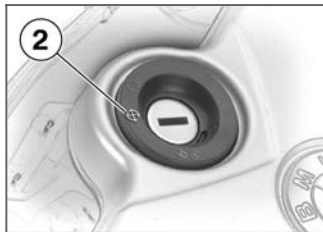


- キーをポジション 1 に回します。
- » ポジション / パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
- » エンジンを始動することができます。
- » 走行前点検が行われます。(⇒ 71)
- » ABS 自己診断が実施されます。(⇒ 71)

オートマチックスタビリティコントロール (ASC) ^{OE} あり:

- キーをポジション 1 に回します。
- » 上記の項目に加えて、ASC 自己診断が行われます。(⇒ 72)◁

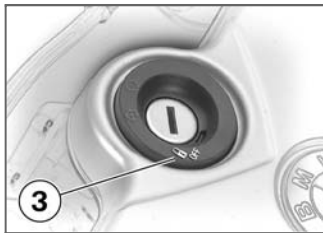
イグニッションスイッチを OFF にする



- キーをポジション 2 に回します。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されず。

- » キーを抜き取ることができません。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- » バッテリーの充電は、電源ソケットを介して行うことができます。

ステアリングロックをロックする



! モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦な路面では、ハンドルバーを左に回したほうが、

右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ハンドルバーを左または右に回します。
- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション 3 に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。
- » キーを抜き取ることができません。

電子式イモビライザー 盗難防止

電子式イモビライザーは、そのために特に何かを設定したり、起動させたりする必要なく、あなたの BMW モーターサイク

ルの盗難防止に役立てることができます。電子式イモビライザーは、そのモーターサイクルに付属しているキーを使用した場合にのみ、エンジンが始動できるようにします。また、キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad デイラーでそのキーの使用を停止することができます。使用停止になったキーでは、エンジン始動はできません。

キーの電子機器

モーターサイクルの電子機器は、イグニッションロックのリングアンテナを介して、キーに内蔵されている電子機器と、車両ごとに固有の絶えず変化している信号を交換しています。キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンマネジメントシステムコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。

▶ スペアキーが始動用イグニッションキーと一緒にキーリングなどで取り付けられていると、内蔵の電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイには警告 EWS が表示されます。スペアキーはイグニッションキーと必ず別に保管してください。◀


代替および追加のスペアキー

代替および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーを介してのみ、入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。紛失したキーの使用停止を希望される場合には、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーをお渡しいただく必要があります。使用停止にし

たキーは、再び使用可能にすることができます。

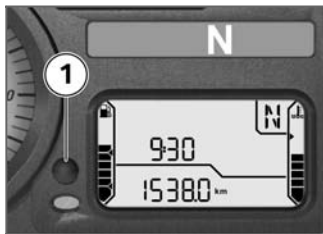
時計

時計を調整する

 走行中に時刻を調整すると、事故につながるおそれがあります。

時刻の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- イグニッションを ON にします。



- 総走行距離が表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し操作します。



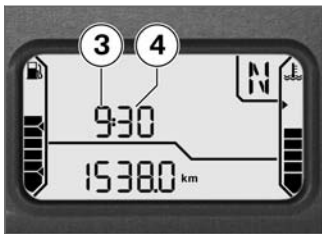
- または、総走行距離が表示されるまで、ボタン 2 を繰り返し押します。

オンボードコンピューターOE
あり または タイヤ空気圧コント
ロール (RDC) OE あり:



- 時刻が表示されるまで、ボタ
ン 2 を繰り返し操作します。

◀ この場合、メーターパネ
ルのボタンはオドメー
ターの操作用にのみ使用され
ます。◀◀

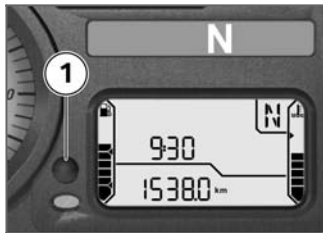


- ボタンを押し続けます。
» 時間 3 が点滅します。
- ボタンを押します。
» ボタンを押すごとに時間が進み
ます。
- ボタンを押し続けます。
» 分 4 が点滅します。
- ボタンを押します。
» ボタンを押すごとに分が進み
ます。
- ボタンを押し続けるか、もうそ
れ以上操作しないでおきます。
» 設定が終了すると、設定した時
刻が表示されます。

オドメーター

表示を選択する

- イグニッションを ON にしま
す。



- ボタン 1 を押します。



- ボタン 2 を使用することもできます。

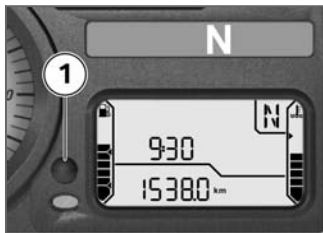


ボタンを操作するたびに最新の数値から始まり、次の順番で表示が切り替わります：

- 総走行距離

- トリップメーター 1 (Trip I)
- トリップメーター 2 (Trip II)
- 走行可能距離 (リザーブ容量に達してから)

オンボードコンピューター^{OE} あり または タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} あり:



- ボタン 1 を押します。

▶ この場合、ハンドルバーフィッティングのボタンは、オンボードコンピューターまたは RDC 表示の操作にのみ使用されます。◀◀

トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にします。
- 希望のトリップメーターを選択します。



- ボタン 1 を押し続けます。



- またはその代わりにボタン 2 を使用することもできます。
- » トリップメーターがリセットされます。

オンボードコンピューター^{OE}
あり または タイヤ空気圧コント
ロール (RDC) ^{OE} あり:



- ボタン 2 を押し続けます。

▶ この場合、ハンドルバー
フィッティングのボタ
ンは、オンボードコンピュー
ターまたは RDC 表示の操作用に
のみ使用されます。◀◀

走行可能距離 (リザーブレベル)



走行可能距離 (リザーブレベル) は RANGE の文字と共に表示され、残りのフューエルであとどのくらい走行できるかを示します。これは、リザーブ容量に達すると表示されます。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

燃料補給時には、何リットルかの燃料が補給されると初めて、燃料量が記録されます。

リザーブ容量を下回った状態で給油を行う場合は、給油

後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより、新たな充填レベルが検知されます。そうでない場合、充填レベルも走行可能距離（リザーブレベル）表示も更新されません。

▶ 算出された走行可能距離（リザーブレベル）は、概算数値です。そのため、BMW Motorrad では表示された走行可能距離（リザーブレベル）を完全に走行しきらないことをお勧めします。◀

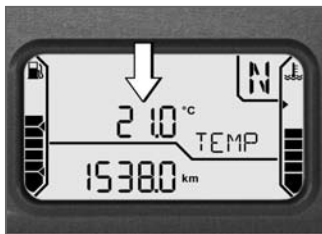
オンボードコンピュータOE

表示を選択する

• イグニッションを ON にします。



• ボタン 1 を押します。



ボタンを操作するたびに最新の数値から始まり、次の順番で表示が切り替わります：
 - 外気温度
 - 平均速度

- 平均燃費
- 走行可能距離
- オイルレベル注意
- タイヤ充填圧（OE）

外気温度



停車時に、エンジン放射熱により外気温度 1 の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、ディスプレイに一時的に -- が表示されます。



外気温度が 3 °C を下回ると、氷結が発生する前に警告が表示されます。この温度を最初に下回った時

点で、ディスプレイの設定状態にかかわらず自動的に温度表示に切り替わります。

平均速度



平均速度 1 は、最後にリセットを行ってからの経過時間を基にして算出されます。途中、エンジンが停止していた時間は含まれません。

平均速度をリセットする

- イグニッションを ON にします。
- 平均速度を選択します。



- ボタン 1 を押し続けます。
» 平均速度をリセットします。

平均燃費

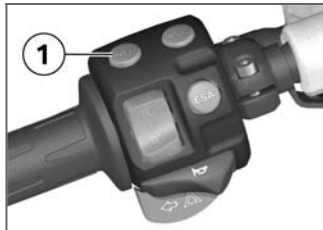


平均燃費 1 は、最後にリセットを行ってからの燃料消費

量と走行距離を基にして算出されます。

平均燃費をリセットする

- イグニッションを ON にします。
- 平均速度を選択します。



- ボタン 1 を押し続けます。
» 平均燃費をリセットします。

走行可能距離



走行可能距離（リザーブレベル）（▶▶ 47）の機能説明は走行可能距離にも適用されます。ただし、走行可能距離 1 は、リザーブ容量に達する前でも呼び出すことができます。走行可能距離の計算には、専用の平均燃費が使用されます。これは表示に呼び出し可能な数値とは必ずしも一致しません。モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、傾いているために、フェューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、走行

可能距離の算出は走行中のみ正しく実施できます。リザーブ容量を下回った状態で給油を行う場合は、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより、新たな充填レベルが検知されます。そうでない場合、充填レベルも走行可能距離表示も更新されません。

▶ 算出された走行可能距離は、概算数値です。そのため、BMW Motorrad は、表示されている走行可能距離を完全に走行しきらないことをお勧めします。◀

オイルレベル注意



オイルレベル注意 1 では、エンジンオイルレベルに関する情報が提供されます。停車しているときのみ、呼び出しが出来ます。

オイルレベル注意には、以下の条件が満たされている必要があります。

- エンジンが作動温度に達していること
- エンジンを 10 秒間以上アイドルリングさせていること
- サイドスタンドが格納されていること

ー モーターサイクルをまったく立てます。

表示の意味：

OK：オイルレベルは正常です。
CHECK：次回の燃料補給時にオイルレベルを点検してください。

---：オイルレベルを測定できません（前述の条件が満たされていません）。



オンボードコンピューターの他の情報が呼び出される場合は、オイルレベルが正常であると再び認識されるまで、このマークが引き続き表示されます。

次にイグニッションを ON にしたときには、最後に測定されたレベルが 5 秒間表示されます。

▶ エンジンオイルタンクの表示でオイルレベルが正常であるにもかかわらず、ディスプレイに絶えず「オイルレベ

ルの点検」が表示される場合には、オイルレベルセンサーが故障しているおそれがあります。この場合、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE

タイヤ充填圧を表示する

- イグニッションを ON にします。



- ディスプレイにタイヤ充填圧が表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し押します。



タイヤ充填圧は、表示 RDC P と共に表示されます。左の数値はフロントホイールの充填圧を、右の数値はリヤホイールの充填圧を示しています。イグニッション ON の直後は、--- が表示されます。これは充填圧値の伝送が車速 30 km/h を越えると開始されるためです。

表示は、時刻表示と交互に現れます。

オンボードコンピューター装備車両の場合、表示は、時刻およびオンボードコンピュー

ターの各値と入れ替わりに現れます。

ライト

ポジション / パーキング ライト

イグニッションを ON にすると、ポジションライトは自動的に点灯します。

▶ ポジション / パーキングライトはバッテリーを消費します。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

ロービーム

エンジンを始動させると、ロービームは自動的に点灯します。

▶ イグニッションを ON にして、ハイビームあるいはパッシングスイッチを操作すると、エンジンを停止した状態でもライトを点灯させることができます。◀

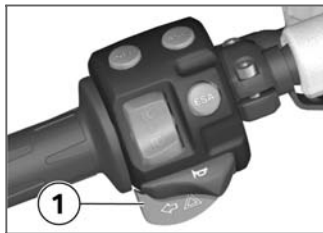
ハイビーム



- ハイビームスイッチ 1 上部を押します。
- » ハイビームが点灯します。
- ハイビームスイッチ 1 を中間位置にします。
- » ハイビームが消灯します。
- ハイビームスイッチ 1 下部を押します。
- » ハイビームを、操作時間に応じて点灯させます (パッシングライト)。

パーキングライトを点灯する

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションを OFF にした後、ただちに左側ウインカースイッチ 1 を押し続けます。
- » パーキングライトが ON になります。

パーキングライトを消灯する

- イグニッションを ON にした後、再び OFF にします。
- » パーキングライトが消灯します。

ウインカー

左ウインカーを点滅させる

- イグニッションを ON にします。

▶ 約 10 秒間、または、約 200 m の距離を走行すると、ウインカーは自動的に OFF になります。◀

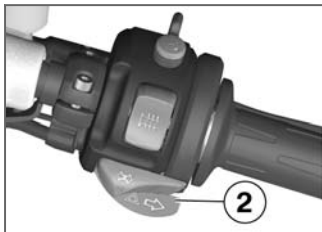


- 左側ウインカースイッチ 1 を押します。
- » 左側ウインカーが点滅します。
- » 左側ウインカーインジケータが点滅します。

右側ウインカーを点滅させる

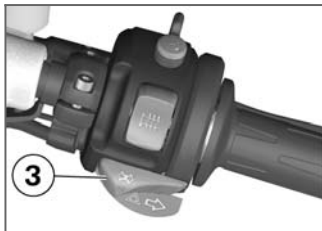
- イグニッションを ON にします。

▶ 約 10 秒間、または、約 200 m の距離を走行すると、ウインカーは自動的に OFF になります。◀



- 右側ウインカースイッチ 2 を押します。
- » 右側ウインカーが点滅します。
- » 右側ウインカーインジケータが点滅します。

ウインカーを消灯する



- ウインカーキャンセルスイッチ 3 を操作します。
- » ウインカーが消灯します。
- » ウインカーインジケータが消灯します。

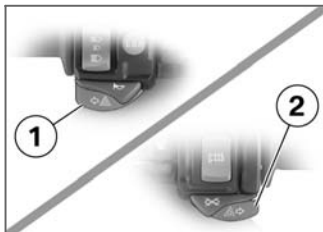
ハザードランプ

ハザードランプを点滅させる

- イグニッションを ON にします。

▶ ハザードランプはバッテリーを消費します。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようにしてください。◀

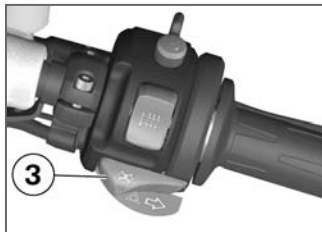
▶ イグニッションを ON にした状態で片方のウインカースイッチを押すと、押し続けている間はハザードランプ機能がウインカー機能に代わります。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。◀



- 左側ウインカースイッチ 1 と右側ウインカースイッチ 2 を同時に操作します。
- » ハザードランプが ON になります。
- » 左右のウインカーインジケータが点滅します。

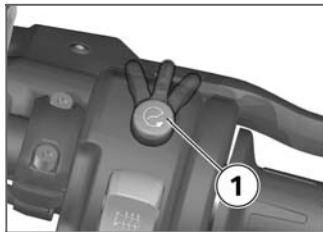
- イグニッションを OFF にします。
- » ハザードランプは点滅したままになります。
- » 左右のウインカーインジケータが OFF になります。

ハザードランプを消灯する



- ウインカーキャンセルスイッチ 3 を操作します。
- » ハザードランプが消灯します。

イグニッションキルスイッチ

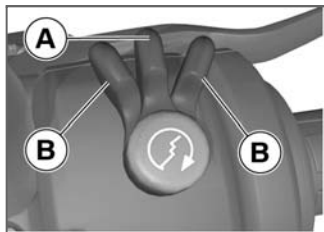


1 イグニッションキルスイッチ

! 走行中にイグニッションキルスイッチを操作すると、リヤホイールがロックし、転倒するおそれがあります。走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡

単に停止させることができます。



- A 通常の操作ポジション
B エンジンを停止させます。

▶ エンジンは、通常の操作ポジションでのみ始動できます。◀

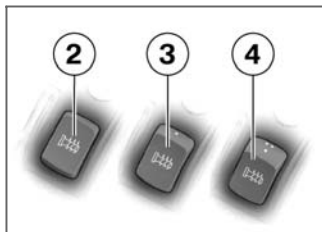
グリップヒーターOE



1 グリップヒータースイッチ

グリップを2段階で暖めることができます。グリップヒーターは、エンジン作動時のみ作動させることができます。

▶ 低速走行時には、グリップヒーターにより高まった消費電力がバッテリーの放電を招くことがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターがOFFになります。◀



- 2 ヒーター OFF
- 3 ヒーター出力 50% (点 が 1 つ見える)
- 4 ヒーター出力 100% (点 が 3 つ見える)

オートマチックスタビリティコントロール (ASC) OE


ASC 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にします。


▶ ASC 機能は走行中にも OFF にできます。◀



- ASC ボタン 1 を押し続けます。

 ASC マークが常時表示されます。

- ASC ボタンを 3 秒以内に放します。


 ASC マークが引き続き表示されます。

- » ASC 機能が OFF になります。


ASC 機能を ON にする



- ASC ボタン 1 を押し続けます。


 ASC マークは表示されません。自己診断が終了していない場合は、ASC 警告灯が点滅し始めます。

- ASC ボタンを 3 秒以内に放します。

 ASC マークは消灯したままか、点滅を続けます。


- » ASC 機能が ON になります。
- ASC ボタンを押す代わりに、イグニッションを OFF にし

てから再び ON にすることで可能です。


 イグニッションを OFF / ON にしてさらに 10 km/h 以上で走行後に ASC 警告灯が点灯する場合は、ASC が故障しています。◀

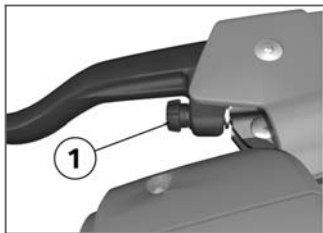
クラッチ

クラッチレバーを調整する

 クラッチフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがクラッチシステムに入り込むおそれがあります。

ハンドルパーフィッティングもハンドルも回さないでください。◀

 走行中にクラッチレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストスクリュー 1 を時計回りに回します。

▶ アジャストスクリューにはストップポジションがあり、クラッチレバーを前に押し、簡単に回すことができます。◀

- » ハンドルグリップとクラッチレバーの間隔が大きくなります。
- アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回します。
- » ハンドルグリップとクラッチレバーの間隔が小さくなります。

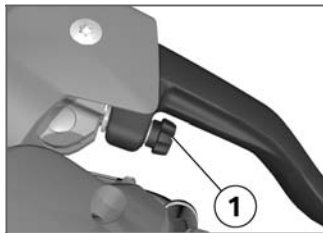
ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

⚠ ブレーキフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがブレーキシステムに入り込むおそれがあります。

ハンドルパーフィッティングもハンドルも回さないでください。◀

⚠ 走行中にブレーキレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

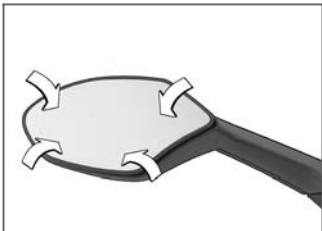


- アジャストスクリュー 1 を時計回りに回します。

▶ アジャストスクリューにはストップポジションがあり、ブレーキレバーを前に押し、簡単に回すことができます。◀

- » ハンドルグリップとハンドブレーキレバーの間隔が大きくなります。
- アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回します。
- » ハンドルグリップとブレーキレバーの間隔が小さくなります。

ミラー ミラーを調整する



- ミラーの端を軽く押して、ご希望の位置に調整します。

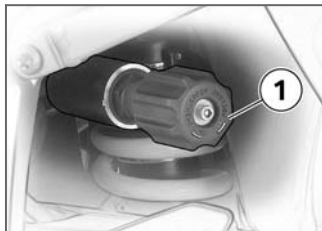
スプリングプリロード 調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリン

グプリロードも低く調整する必要があります。

リヤホイールのスプリングプリロードを調整する


- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



! スプリングプリロードおよびショックアブソーバーが調整されていない場合、モーターサイクルの走行特性が悪化します。ショックアブソーバーは、スプリングプリロードに合わせて調整してください。◀

! 走行中にスプリングプリロードを調整すると、事故につながるおそれがあります。スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ 1 を矢印の「HIGH」方向へ回します。
- スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ 1 を矢印の「LOW」方向へ回します。

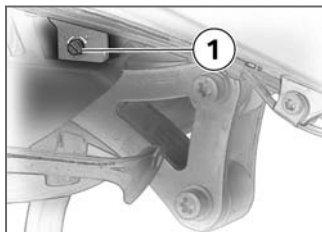
 リヤスプリングプリロード基本調整

– アジャストノブを矢印の「LOW」方向へストップ位置まで回してから、矢印の「HIGH」方向へ13クリック分回します (燃料満載、ライダー乗車時 85 kg)

ショックアブソーバー

調整

ショックアブソーバーは必ずスプリングプリロードに合わせて調整してください。スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。



- ショックアブソーバーを、ツールを使用してアジャストスクリュー 1 で調整します。

- ショックアブソーバーをソフトにするには、アジャストスクリュー 1 を矢印「S」の方向へ回します。

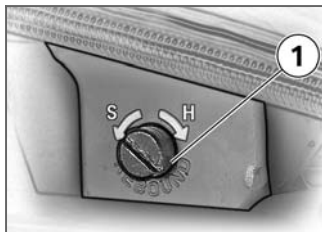


リヤショックアブソーバーの基本調整

- アジャストノブを矢印の「H」方向へストップ位置まで回してから、矢印の「S」方向へ 1 回半回します (1 名乗車時 85 kg)

リヤホイールのショックアブソーバーを調整する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。

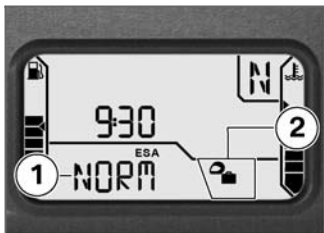


- ショックアブソーバーをハードにするには、アジャストスクリュー 1 を矢印「H」の方向へ回します。

電子調整式サスペンション (ESA) OE

調整

電子調整式サスペンション (ESA) により、モーターサイクルを荷重条件や地盤状況に合わせて簡単に調整することができます。



ショックアブソーバーの設定はマルチファンクションディスプレイのフィールド 1 に表示され、スプリングプリロードはフィールド 2 に表示されます。ESA の表示中はオドメーターの表示が隠れます。車両を最適に調整するため、3 種類のスプリングプリロードと 3 種類のショックアブソーバー調整を組み合わせることができます。

スプリングプリロードの調整

ESA コントロールユニットは過負荷保護機能を備えています。この機能は、電力消費が高すぎるときに、スプリングプリロードの調整作業を中断します。特に気温の低いときや積載荷重が重い場合には、急激に電力消費が高まり、それによって調整作業が中断されることがあります。

BMW Motorrad は、気温が 0 °C を下回る場合、タンデム走行は、2 名乗車用に調整作業を行った後で実行することをお勧めします。また、BMW Motorrad は、調製トラベルが著しく長い場合（「1 名乗車時」から「2 名乗車 + 荷物積載時」への調整時）には、モーターサイクルの負荷を解除することもお勧めします。ESA 表示は、調整作業が終了するまで点滅し続けます。中断された調整作業は、上記処置などにより、電力消費が低

減されるとすぐに自動的に継続進行されます。

設定を表示する

- イグニッションを ON にします。



- ボタン 1 を押します。
 - » 現在の設定が表示されます。
 - » 表示は数秒後に自動的に消えます。

ショックアブソーバーを調整する

- イグニッションを ON にします。

▶ ショックアブソーバーの調整は、走行中もできません。◀



- ボタン 1 を押します。
- » 現在の設定が表示されます。
- ボタン 1 を 1 回ずつ押します。

現在の設定から始まり、次の順番で表示が切り替わります。

- COMF コンフォート設定ショックアブソーバー
- NORM ノーマル設定ショックアブソーバー
- SPORT: スポーツ設定ショックアブソーバー

» それ以上変更が行われないと、そのとき表示されていたショックアブソーバーが設定されません。

スプリングプリロードを調整する

- エンジンを始動させます。

▶ 走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀



- ボタン 1 を押します。
- » 現在の設定が表示されます。
- 表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。

現在の設定から始まり、次の順番で表示が切り替わります。



1 名乗車時



1 名乗車 + 荷物積載時



2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

- » それ以上変更が行われないと、そのとき表示されていたスプリングプリロード、および、必要に応じてショックアブソーバーが設定されます。スプリングプリロードが調整されている間は、表示が点滅します。
- さらに走行を続ける前に、調整作業 (表示が点滅) の様子を見待ちます。

タイヤ



タイヤ充填圧を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。

! タイヤ充填圧が適正でない場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼし、タイヤの寿命を縮めます。タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

! 高速で走行していると、遠心力により、タイヤバルブが少しずつ緩むことがあります。タイヤ充填圧が突然失われることのないように、ラバーシールの付いた金属製バルブキャップを使用し、確実に締め付けてください。◀

- 次のデータを使用して、タイヤ充填圧が正しいか点検します。

	フロントタイヤ充填圧
	- 2.5 bar (1 名乗車時 (タイヤ冷間時))
	- 2.5 bar (2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時))
	リアタイヤ充填圧
	- 2.9 bar (1 名乗車時 (タイヤ冷間時))
	- 2.9 bar (2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時))

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

ヘッドライト

右側 / 左側通行の国でのヘッドライトの調整

モーターサイクルが反対側通行の国へ入ると、非対称のロービームが対向車を眩惑します。それぞれの状況に合わせたヘッドライトの調整は、BMW Motorrad ディーラーにご依頼ください。

! 市販のマスキングテープはプラスチックライトカバーを損傷します。プラスチックライトカバーの損傷を防ぐため、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

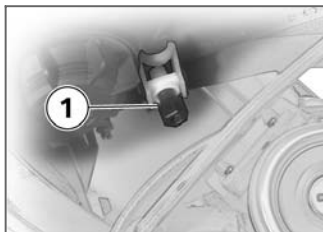
光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

▶ ヘッドライトの基本調整が正しいかどうか疑わしい場合は、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◀

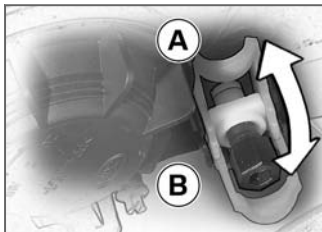
光軸の調整



1 光軸の調整

非常に高い負荷がかかる場合、スプリングプリロードを適切に調整することができません。

ん。対向車を眩感しないようにするため、スイングレバーを調節することにより、ヘッドライトの調整を修正することができます。

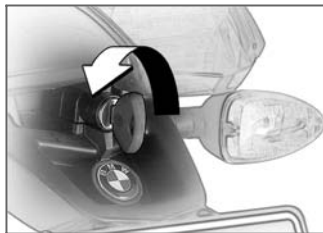


- A 通常の光軸
B 負荷が高い場合の光軸

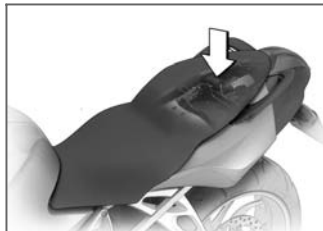
シート

シートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- シートロックのキーを反時計回りに回します。



- その際、シートを押しえながら下方へ押します。



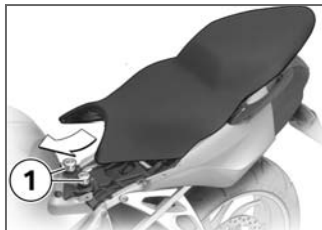
- リヤシートを持ち上げます。

! シートをざらつきなどのある面の上に置くと、シートエッジが損傷するおそれがあります。

シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます(タンクの上など)。◀

- キーを外し、シートを後方へ引いてホルダーから外します。

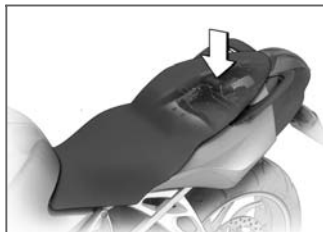
シートを取り付ける



! 前に強く押しすぎると、モーターサイクルがスタンドから外れてしまうおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- シートを前方向へホルダー 1 に押し込む。

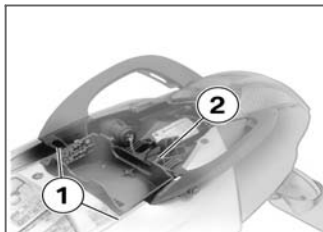


- シートをロックの上から、強く下に押し込みます。
- » シートがはまる音が聞こえます。

ヘルメットホルダー

ヘルメットをモーターサイクルに固定する

- シートを取り外す (▶▶ 63)



- ヘルメットをスチールケーブル（アクセサリー）を使用してヘルメットホルダー 1 または 2 に固定します。

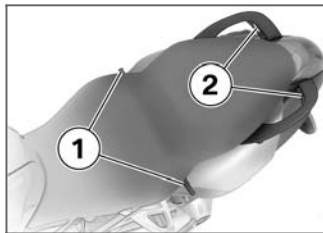


! ヘルメットロックにより、フェアリングに傷が付くおそれがあります。

取付けの際には、ヘルメットロックの位置に注意してください。◀

- そのため、スチールケーブルをヘルメットに通し、ケーブルの留め環をホルダーの上になぞらします。
- シートを取り付ける (⇒ 64)

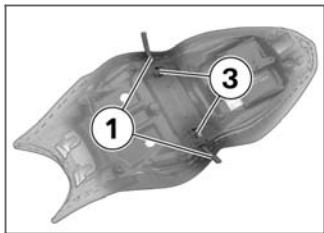
ラゲッジループ シート下のラゲッジループ



シートの下側に、ラゲッジストラップ固定用のループ 1 があります。グリップハンドルの留め穴 2 と組み合わせて使用することにより、荷物をリヤシートに固定できます。

ラゲッジループを使用する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- シートを取り外す (⇒ 63)
- シートを裏返します。



- ループバンド **1** をホルダー **3** から引き、外へ向けて出しておきます。
- » ラゲッジストラップをループに掛けることができます。
- シートを取り付ける (▶▶▶ 64)

走行

安全に関する注意事項	68
チェックリスト	70
始動	70
慣らし走行	72
ブレーキ	73
駐車する	74
給油	76

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ


走行距離の長短や天候にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着 / 着用しなければなりません。BMW Motorrad デイラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。


- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーを調整する
- 荷物のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ充填圧が低すぎる
- タイヤの摩耗
- その他

荷物の積み方

 積載量をオーバーしたり、荷物のバランスが悪いと、モーターサイクルの走行安定性に悪影響を及ぼすおそれがあります。

許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀


アルコールと薬物

 アルコールや薬物は、たとえ少量であっても知覚や反応を鈍らせ、判断力や反射能力を低下させます。特に医薬品を服用したときは、このような症状がひどくなる場合があります。

アルコールや薬物、医薬品の服用後は、絶対にモーターサイクルを運転しないでください。◀


有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含んでいます。

 排気ガスを吸い込むと健康を害し、意識を失ったり、場合によっては死亡するおそれがあります。

排ガスを吸い込まないようにしてください。閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

高電圧

 エンジン作動時に、イグニッションシステムの通電部に触れると、感電するおそれがあります。

エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀


触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

そのため、次の項目を守ってください。


- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- 必ず無鉛ガソリンを使用する


- 指定されているメンテナンスを定期的実施する

 未燃焼のガソリンは、触媒コンバーターを破損します。
触媒コンバーターを保護するため、上記の項目を遵守してください。◀

火災の危険

エキゾーストシステムは高温になります。


 燃えやすいもの（紙くず、落ち葉、草、衣服、荷物など）が高温になったエキゾーストシステムに触れると、火災が起きるおそれがあります。
燃えやすいものが高温になったエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀


 エンジンを長時間アイドリングしたままにすると、冷却が十分に行われず、オーバーヒートが発生するおそれが

あります。極端なケースでは、車両火災が発生するおそれもあります。

エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

エンジンマネジメントシステムコントロールユニットの改造

 エンジンコントロールユニットに手を加えると、車両を損傷し、事故を招く危険性があります。
エンジンコントロールユニットに手を加えないでください。◀

 エンジンコントロールユニットに手を加えると、車両の部品が本来そのような、メカニズムへの負担がかかるおそれがあります。それに起因する損傷に対しては、保証は適用されません。

エンジンコントロールユニットに手を加えないでください。◀

チェックリスト

以下のチェックリストを利用して、走行前には必ず、重要な機能、設定、摩耗限度について点検してください。

- ブレーキ機能
- フロント / リアブレーキフルードレベル
- クラッチ機能
- クラッチフルードレベル
- ショックアブソーバーの調整 / スプリングプリロードの調整
- トレッドの溝の深さおよびタイヤ充填圧
- ケースおよび荷物の確実な固定

定期的に点検してください：

- エンジンオイルレベル（燃料補給ごと）
- ブレーキパッドの摩耗（燃料補給 3 回に 1 度）

始動

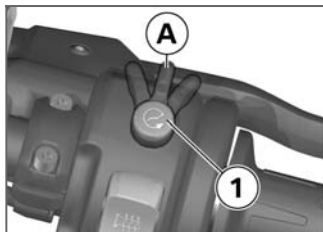
サイドスタンド

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを前進させることはできません。モーターサイクルをニュートラル位置で始動させ、サイドスタンドを立てた状態でギヤを入れると、エンジンは停止します。

ギヤボックス

モーターサイクルは、ニュートラル位置またはクラッチを切ってギヤを入れた状態で、始動させることができます。必ずイグニッションを ON にした後、クラッチを操作してください。そうしない限り、エンジンを始動できません。ニュートラル位置では、ニュートラルインジケーター（緑）が点灯し、マルチファンクションディスプレイのギヤインジケーターは「N」を表示します。

エンジンを始動する



- イグニッションキルスイッチ 1 を通常の操作ポジション A にします。
- イグニッションを ON にします。
- ▶ 走行前点検が行われます。
(☞ 71)
- ▶ ABS 自己診断が実施されます。
(☞ 71)

オートマチックスタビリティコントロール (ASC) ^{OE} あり:

- イグニッションを ON にします。

- » 走行前点検が行われます。
(⇒ 71)
- » ABS 自己診断が実施されます。(⇒ 71)
- » ASC 自己診断が実施され
ます。(⇒ 72)◀



- スターターボタン 1 を押し
ます。

▶ 極端に温度が低い場合は、始動時にスロットルグリップの操作が必要な場合があります。外気温度が 0 °C 以下のときには、イグニッションを ON にしてから、クラッチを切ってください。◀

▶ バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、次のトラブルシューティングをご覧ください。(⇒ 136)

走行前点検

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがジェネラル警告灯のテスト、"Pre-Ride-Check" を実行します。その際、警告灯はまず赤くなってから黄色に変わり、テストを行っていることを示します。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

▶ ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。

- CHECK! が表示されます。

ステップ 2

▶ ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

- CHECK! が表示されます。ジェネラル警告灯が表示されない場合：

▶ ジェネラル警告灯が表示されない場合、機能障害がいくつか表示されないおそれがあります。

ジェネラル警告灯の表示 (赤および黄) に注意してください。◀

- できる限り早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。ABS センサーをテストするに

は、5 km/h を超える速度で走行しなければなりません。

ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS 警告灯が点滅します。



ABS 警告灯の国別表示

ステップ 2

» 発進時に ABS センサーを点検します。



ABS 警告灯が点滅します。



ABS 警告灯の国別表示

ABS 自己診断が終了

- » ABS 警告灯が消灯します。ABS 自己診断の終了後、ABS の故障が表示される場合：
 - 走行を続行することは可能です。ABS もインテグラル機

能も使用できないことに注意してください。

- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断 OE

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。ASC 自己診断を終了するため、エンジンを始動させてモーターサイクルを 5 km/h 以上で走行させます。

ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC マークが点滅します。

ステップ 2

» 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。



ASC マークが点滅します。


ASC 自己診断が終了

- » ASC 警告灯が消灯します。ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合：
 - 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
 - できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

最初の 1000 km

- 慣らし走行中は、スロットル開度とエンジン回転数を頻繁に変化させてください。
- 初めて走行するときは、幹線道路や高速道路よりも、カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。

 慣らし走行時に推奨回

転数を超えると、エンジ

ンが過度に摩耗します。

慣らし走行中は規定エンジン回

転数を遵守してください。◀

- 慣らし走行中のエンジン回転数を越えないでください。



慣らし走行中のエンジン回転数

- <7000 min⁻¹

- スロットルを全開にして加速しないでください。
- 全負荷状態では、エンジンを低回転で使用しないでください。
- 500 ~ 1,200 km の間に必ず初回点検を行ってください。

ブレーキパッド

ブレーキパッドも適度な「慣らし」が必要です。最初の 500 km くらいまでは、まだ本来の性能を発揮できません。この段階のブレーキの効きの弱さは、

ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



ブレーキパッドが新しいと、制動距離は大幅に長くなるおそれがあります。

早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



新品のタイヤはグリップが充分でないため、極度に車体を傾けると事故につながるおそれがあります。車体を極度に傾けないでください。◀

ブレーキ


制動距離を最短にするには？

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。


制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる緊急ブレーキでは、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォー

スが完全には路面に伝達できなくなります。このとき、フロントホイールがロックしないように ABS が介入し、ブレーキ圧を下げる必要があります。そのため制動距離が長くなります。

下り坂


 下り坂で、リヤブレーキばかりを使用していると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。最悪の場合、ブレーキが熱くなりすぎて破損することがあります。フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

ブレーキが濡れたとき


 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通り過ぎたり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状

態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。ブレーキが乾くまでは、早めにブレーキングしてください。◀

ブレーキに塩分が付着したとき


 モーターサイクルが塩を散布した路面を走行した後、しばらくブレーキをかけないと、ブレーキの効きが遅くなる場合があります。ブレーキディスクおよびブレーキパッドに付着している塩の層が、ブレーキ操作を行ううちになくなるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

ブレーキに油やグリースが付着したとき

 ブレーキディスクとパッドにオイルやグリースが付着していると、ブレーキの効きが著しく低下します。


特に修理や保守作業の後は、ブレーキディスクおよびブレーキパッドにオイルやグリースの付着のないことを確認してください。◀

ブレーキに汚れや泥が付着したとき

 オフロード走行やぬかるんだ道路を走行すると、ブレーキディスクやブレーキパッドに汚れが付着し、ブレーキの効きが遅くなる場合があります。ブレーキ操作を行ううちに、付着している汚れがとれるまでは、早めにブレーキングしてください。◀


駐車する

サイドスタンドで立てる

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。スタンドを立てる路面が、


平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

- エンジンを停止させます。
- ハンドブレーキを操作します。
- モーターサイクルをまっすぐ立て、バランスを保ちます。
- 左足でサイドスタンドを完全に下ろします。

 サイドスタンドは、モーターサイクルの重量のみを支えられるように設計されています。

サイドスタンドを立てた状態で、モーターサイクルに着座しないでください。◀


- モーターサイクルが確実にスタンドで支えられるまでゆっくりと傾け、その後、モーターサイクルの左側へ降りてください。

 モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦な路面では、ハンドル

バーを左に回したほうが、右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。

平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ハンドルバーを左または右いっぱいに戻します。
- モーターサイクルがしっかりと支えられているか確認します。


 坂道など傾斜面に駐車する場合は、モーターサイクルを必ず「上り」方向に向け、ギヤを1速に入れてください。◀

- ステアリングロックをロックします。

サイドスタンドを格納する


- ステアリングロックを解除します。
- 左側から、ハンドルバーを両手で握ります。
- ハンドブレーキを操作します。

- モーターサイクルをまっすぐ立て、右足でシートをまたぎます。
- モーターサイクルをまっすぐ立て、バランスを保ちます。

 サイドスタンドを出したまましていると、モーターサイクルを発進させたときにスタンドが地面にひっかり、転倒するおそれがあります。モーターサイクルを発進させる前に、サイドスタンドを格納してください。◀


- 着座し、サイドスタンドを左足で格納します。

メイン(センター)スタンドで立てるOA

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

- エンジンを停止させます。

- 左手で左のハンドルグリップを握りながら、モーターサイクルから降ります。
- 右手でパッセンジャー用グラブハンドルまたはリヤフレームを握ります。
- 右足で、メイン（センター）スタンドを踏み込み、スタンドの両足が路面に接するようにします。
- 全体重をメイン（センター）スタンドにかけ、同時にモーターサイクルを後方へ引きまします。


 **メイン（センター）スタンドは激しく動かされると跳ね上がることがあり、それが原因でモーターサイクルが転倒するおそれがあります。**
メイン（センター）スタンドを立てた状態で、モーターサイクルに着座しないでください。◀


- モーターサイクルがしっかりと支えられているか確認します。
- ステアリングロックをロックします。


メイン（センター）スタンドを格納する OA

- ステアリングロックを解除します。
- 左手で、左のハンドルグリップを握ります。
- 右手でパッセンジャー用グラブハンドルまたはリヤフレームを握ります。
- モーターサイクルを、メイン（センター）スタンドから前方へ押し出します。
- メイン（センター）スタンドが完全に格納されているか確認します。

給油

 **フューエルは簡単に引火します。フューエルタンクに火を近づけると、火災や爆発が起こる可能性があります。フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。**◀

 **フューエルは、高温になると膨張します。フューエルタンクからフューエルがあふれ、リヤホイールに付着することがあります。それにより、転倒するおそれがあります。このため、給油はフィルターネットの下端までにしてください。**◀

 **フューエルはプラスチックの表面を傷めるため、表面の光沢がなくなったり、外観が損なわれたりします。プラスチック部品にフューエルが付着した場合は、ただちに拭き取ってください。**◀

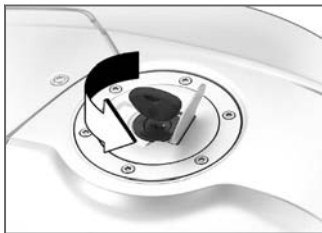
! フューエルはウインドシールドの素材を傷めるため、曇ったり、外観が損なわれたりします。

ウインドシールドにフューエルが付着した場合は、ただちに拭き取ってください。◀

! 有鉛ガソリンを使用すると、触媒コンバーターが破損します。

必ず無鉛ガソリンを使用してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。




- 保護キャップを開きます。
- フューエルタンクキャップを、イグニッションキーを反時計回りに回して開きます。




- 以下に記載されているグレードのフューエルをフィルターネット

クの下端いっぱいまで補給します。


 推奨フューエルグレード

- 98 ROZ/RON (無鉛プレミアム)

- 95 ROZ/RON (無鉛スーパー (出力および燃費に関する条件付きで使用可能な燃料の種類))

 フューエル容量

- 19 l

 フューエルリザーブ容量

- ≥ 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

技術情報

ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)	80
エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装 備) ^{OE}	82
タイヤ空気圧コントロー ル (RDC) ^{OE}	84

ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント / リヤホイールのブレーキと一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、ブレーキング中のフロントおよびリヤホイールブレーキへのブレーキフォース配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。



フロントブレーキをかけた際に引き起こされる後輪の空転 (バーンアウト) は、

インテグラル機能により、かなり抑えられます。リヤブレーキおよびクラッチが損傷するおそれがあります。

バーンアウトは行わないください。◀

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を超えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況に

なる前に、ABS が介入して、ブレーキ圧を伝達される最大ブレーキフォースに適應させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？


起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このとき BMW Motorrad Integral ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数 (砂利、凍結、

雪の場合)をかなり低く見積っています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Integral ABSの作動は、ライダーにとってどのように感じられるでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり
タイヤの路面に対するグリップ力が高い場合に強いブレーキをかけると、フロントホイールはかなり経ってからロックするか、またはロックしません。それに応じて、ABS 制御も大幅に遅れるか、または作動しません。この場合、リヤホイールが浮き上がることがあり、モーターサイクルの転倒につながるおそれがあります。

 **急激なブレーキングを行うと、リヤホイールが浮き上がるおそれがあります。**
ブレーキング時には、ABS 制御は、いかなる状況においてもリヤホイールが浮き上がるのを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad Integral ABSはどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、あらゆる地面での走行安定性を保証しています。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad Integral ABS に問題がある場合以外に、


特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります。

特殊な走行状態：

- センタースタンドまたは補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック（オフロード走行時など）。

上記のいずれかの走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能はイグニッションを ON / OFF にすることにより再び作動状態にできます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？

 技術システムはすべて、常に良好な整備状態にしておいてください。

BMW Motorrad ABS を確実に最適な整備状態にしてお

くために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABS により制動距離が短くなるからといって、無謀なライディングは避けなければなりません。ABS は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。コーナリング時のブレーキングには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad Integral ABS といえども、その影響を補正することはできません。

エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備) OE


ASC はどのように作動するのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、フロントおよびリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的限界領域において、ライダーが ASC の制御性能に与える影響は多大なものです（コー

ナーでの荷重移動、積載状態など)。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASC を解除できます。

 ASC を装備していても、物理学の法則は有効です。どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。安全のためのサポートを、リスキーな走行により、元の状態に制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すに従って、物理的作用により、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が遅れる場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ASC 機能は OFF になり、ASC の故障が表示されず、エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる走行状態では、BMW Motorrad ASC が自動的に OFF になる場合があります。

特殊な走行状態：

- ASC が作動していない状態での長時間の後輪走行（ウィーリー）。
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）。
- センタースタンドまたは補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

イグニッションを OFF にしてから ON にして 10 km/h 以上で走行すると、ASC は再び作動します。

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで ASC がトルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorrad ではスロットルグリップを少し戻して、車両をできるだけ早く安定した走行状態に戻すよう、お勧めします。

すべりやすい路面では、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールがロックされ、不安定な走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad ASC によ

る補正を行うことはできません。

タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE}

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。センサーには遠心ガバナーターが装備されており、これにより車速が約 30 km/h を超えると測定値の伝送が行われ始めます。タイヤ充填圧が最初に受信される前は、ディスプレイには各タイヤ用に -- が表示されます。停車後、センサーはさらに約 15 分間、測定値を伝送します。コントロールユニットは 4 つのセンサーを管理できます。RDC センサー付きの 2 つのホイールセットの走行が可能です。RDC コントロールユニッ

トが装備されていてホイールにセンサーが取り付けられていない場合は、エラーメッセージが出ます。

温度補正

タイヤ充填圧は温度補正が行われてマルチファンクションディスプレイに表示されます。このタイヤ空気温度は 20 °C が想定されています。ガソリンスタンドの空気圧テスターは温度に依存したタイヤ充填圧を表示するため、ほとんどの場合、マルチファンクションディスプレイに表示された数値と異なります。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に適合した 3 つのタイヤ充填圧領域を識別します：

- 充填圧が許容範囲内にある。
- 充填圧が許容限界域にある。
- 充填圧が許容範囲外にある。

アクセサリ

一般的な情報	86
電源ソケット	86
荷物	87
ケース ^{OA}	88
修理キット ^{OA}	91


一般的な情報

BMW Motorrad は、部品やアクセサリについて、あなたのモーターサイクル用に BMW が承認した純正品をご使用になることをお勧めします。

BMW 純正部品およびアクセサリのご購入、それらに関連する専門的なアドバイスにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにお尋ねください。

これらの部品やアクセサリは、BMW により、その安全性、機能性、適性に関する試験が実施されています。それらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。

BMW 純正品以外の部品やアクセサリにつきましては、BMW は責任を負いかねます。

 BMW Motorrad 純正品以外の製品をモーターサイクルに装着した場合、BMW Motorrad ではそれらの製品を調査、試験して安全性に影

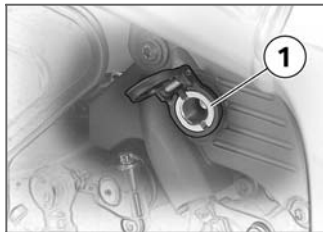
響を与えないと保証することはできません。たとえ公的機関または政府公認による許可があったとしても、必ずしもこの安全要件に対する保証にはなりません。公的試験の方法が必ずしも BMW Motorrad の安全要件を満たすとは限らないからです。

必ず、BMW Motorrad 純正の部品およびアクセサリを使用してください。◀

変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。道路交通法を遵守してください。

電源ソケット

負荷定格



バッテリー電圧が低すぎる場合や、標準電源ソケット 1 および補助電源ソケット (OE) の最大定格負荷を超えた場合には、自動的に OFF になります。

追加装備の使用


追加装備は、イグニッションが ON の場合にのみ作動できます。その後でイグニッションを OFF にしても、追加装備は作動状態のままになります。約 イグニッションを OFF にしてから 15 分間経過した後、および / ま

たは、始動動作中は、バッテリー回路に負荷がかからないようにするため、電源ソケットの回路が遮断されます。

ケーブルの取り回し

電源ソケットとアクセサリ間のケーブルは、以下のことに注意して、取り回して下さい。


- ライダーの妨げにならないこと
- ハンドルバーの動きやハンドリング性能を、制限したり妨げたりしないこと
- 挟み込まれるおそれのないこと

 ケーブルが正しく取り回されていない場合、ライダーの妨げになることがあります。

ケーブルを上記のように取り回して下さい。◀

荷物


荷物の積み方


 積載量をオーバーしたり、荷物のバランスが悪いと、モーターサイクルの走行安定性に悪影響を及ぼすおそれがあります。

許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀


- スプリングプリロードの設定、ショックアブソーバーの設定、タイヤ充填圧を総重量に合わせて調整します。
- リヤホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶ 58)
- タイヤ充填圧を点検する (▶▶ 62)
- リヤホイールのショックアブソーバーを調整する (▶▶ 59)
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。

- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。
- ケースの最大積載荷重および対応する最高速度を遵守してください。

 ケースの積載荷重
ケース OA あり:
- ≤8 kg◀

 ケース装着時の最高速度
ケース OA あり:
- ≤180 km/h◀

- タンクバッグの最大積載荷重および対応する最高速度を遵守してください。

 タンクバッグの積載容量
タンクバッグ OA あり:
- ≤5 kg◀



タンクバッグ装着時の最高速度

タンクバッグ^{OA} あり:

- ≤130 km/h<

- タンクポシエットの最大積載荷重および対応する最高速度を遵守してください。



タンクポシエットの積載荷重

タンクポシエット^{OA} あり:

- ≤5 kg<



タンクポシエット装着時の最高速度

タンクポシエット^{OA} あり:

- ≤130 km/h<

ケースOA

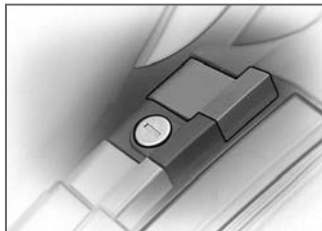
ロック解除レバー

ケースロックの左右には、それぞれロック解除レバーがあります。

「OPEN」と記されているレバー（グレー）は、ケースの開閉に使用します。

「RELEASE」と記されているレバー（黒）は、ケースの脱着に使用します。

ケースを開く

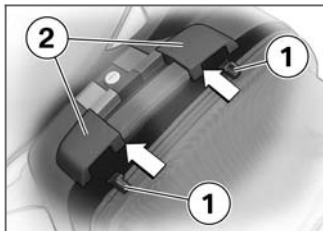


- ロックシリンダーを「OPEN」方向へ回します。



- ロック解除レバー（グレー）（OPEN）を引き上げます。
- » ロックストラップ 1 が外れます。
- ロック解除レバー（グレー）（OPEN）を再度引き上げます。
- ケースリッド 2 をリテーナーから引いて外します。

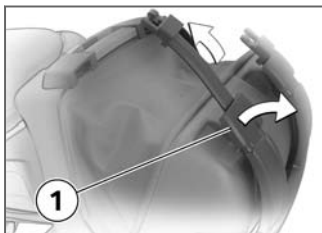
ケースを閉じる



- ケースリッドのキャッチ 1 をリテーナー 2 に押し込みます。
- » キャッチのはまる音がします。
- ロックストラップのキャッチをリテーナー 2 に押し込みます。
- » キャッチのはまる音がします。
- キャッチが確実にハマっているか点検します。

ケースの容量を調整する

- ケースリッドを閉じます。



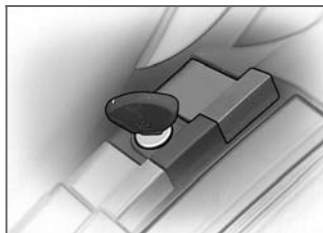
- ロックストラップバックル 1 を、外側へ回します。
- ロックストラップを引き上げます。
- » 最大容量に設定されています。



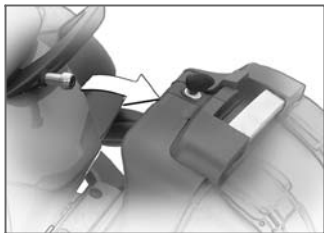
- ロックストラップを締めます。

- ロックストラップをケースボディに押し付けます。
- » ケース容量は中身に合わせて調整されます。

ケースを取り外す

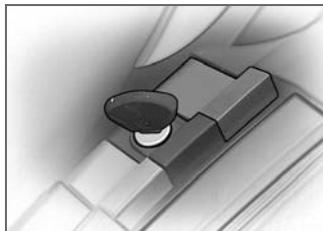


- ロックシリンダーを「RELEASE」方向へ回します。
- ロック解除レバー（黒）（RELEASE）を引き上げます。

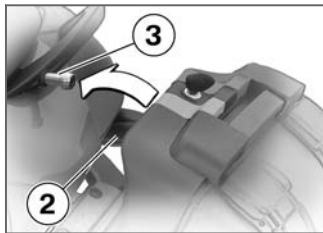


- ケースを上側のマウントから引いて外します。
- ケースを下側のマウントから持ち上げて外します。

ケースを取り付ける



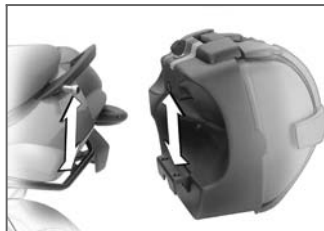
- ロックシリンダーを「RELEASE」方向へ回します。



- ケースを下側のマウント 2 に掛けます。

- ロック解除レバー（黒）（RELEASE）を引き上げます。
- ケースを上側のマウント 3 に押し込みます。
- ロック解除レバー（RELEASE）（黒）を押し下げます。
- » ケースは固定されています。
- ケースをロックします。
- 確実にロックされているか点検します。

確実な固定



ケースがぐらついたり、取り付けにくい場合には、上下のマウント間の間隔を調整する必要があります。そのため、ケース下側のホルダーは、高さを変更することができます。

ケースを調整する

- ケースを開きます。



- ボルト 1 を外します。
- ホルダーの高さを調整します。
- ボルト 1 を締め付けます。

修理キット OA

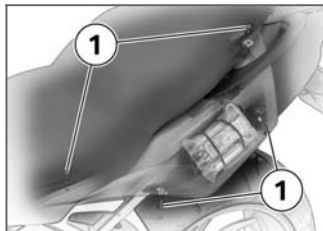
使用

修理キットは左のサイドフェアリングの下にあります。修理手順および安全上の注意については、修理キットの説明書を参照してください。

修理キットを取り出す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- シートを取り外す (▶▶ 63)



- ボルト 1 を取り外します。
- サイドフェアリングを取り外します。

▶ サイドフェアリングを傷つけないようにするため、フェアリングをシートの上に置いてください。◀

- リテーニングストラップを外し、修理キットを取り出します。

メンテナンス

一般的な情報	94
ツールキット	94
エンジンオイル	95
ブレーキシステム一般	97
ブレーキパッド	97
ブレーキフルード	99
クラッチ	101
タイヤ	102
ホイールリム	102
ホイール	103
フロントホイールスタンド	110
リヤホイールスタンド	112
バルブ	113
ジャンプスタート	123
バッテリー	124

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専

用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。

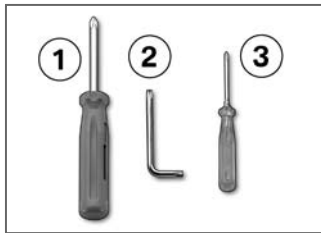
さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報は、ご使用の車両に対応するDVD / CD-ROM 版リペアマニュアル（RepROM）をご覧ください。リペアマニュアルはBMW Motorrad デイラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かなモーターサイクルの知識が必要です。疑問に思われることが生じた場

合には、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

ツールキット

ツールキット（標準装備）



1 ドライバー、リバーシブルブレード

- ウィンカーレンズを脱着する
- バッテリーターミナルを外す

2 トルクスレンチ T25

- トリム部品を脱着する
- バッテリーホルダークランプを脱着する

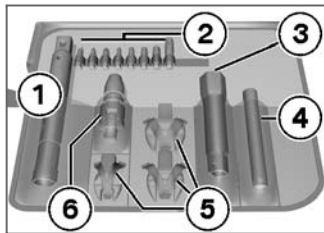
3 ドライバー（小）

- ウィンカーレンズを脱着する

ツールキットサービスセット

今後の作業用に BMW Motorrad デイラーからツールキットサービスセットが提供されます。

この作業実施に関する情報は、リペアマニュアル（DVD / CD-ROM 版）をご参照ください。リペアマニュアルは BMW Motorrad デイラーで入手できます。



1 ツールホルダー (引き出し可能)

- アダプターを介する全ツールのホルダー
- スパークプラグを脱着する

2 1/4" ビット

- Torx × 5、リヤホイールの脱着など
- プラス × 2
- マイナス × 1

3 3/8" 専用レンチヘッド (口径 22)

- フロントアクスルを脱着する

4 懐中電灯

- LED 技術

5 レンチ

- オープンエンドレンチ × 3、バッテリーターミナルの脱着など

6 アダプター

- サポート、1/4" ビット用
- 9x12 mm および 3/8" ジョイントアダプター

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

- ⚠ エンジンオイルが不足していると、エンジンが停止し、事故につながるおそれがあります。エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- ⚠ 長時間停車させた後は、エンジンオイルがオイルパンに溜まっている可能性があります。オイルレベルを読み取る前に、ポンプでオイルタンクに戻しておく必要があります。そのため、エンジンオイルは通常の作動温度でなければなりません。エンジン冷間時や短時間走行した後にオイルレベルの点検を行うと、正確なレベルを測定できないため、間違ったオイル量でエンジンを作動する原因となります。

エンジンオイルレベルを正確に表示させるため、必ず長時間走行してからオイルレベルを点検してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをまっすぐに立てます。

メイン（センター）スタンド^{OA}あり:

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。◁
- 1 分間アイドリングします。
- イグニッションを OFF にします。



- オイルレベルを表示 1 で読み取ります。



エンジンオイル規定レベル

— 最低レベル（MIN）と最高レベル（MAX）マーク間

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充する（⇒ 96）

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

- エンジンオイルを排出する（⇒ 97）

エンジンオイルを補充する

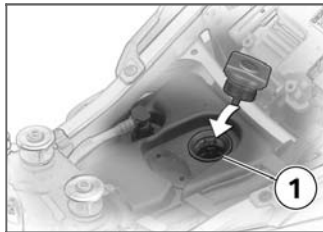
- シートを取り外す（⇒ 63）



エンジンオイルは多すぎても少なすぎても、エンジンを損傷するおそれがあります。

エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◁

- 注入口周辺を清掃します。

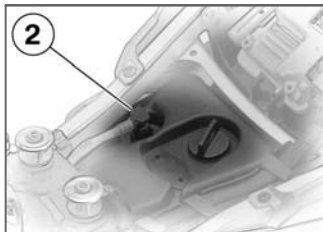


- オイル注入口のキャップ 1 を反時計回りに回して取り外します。
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。

- エンジンオイルレベルを点検する (⇒ 95)
- オイル注入口のキャップ 1 を時計回りに回して取り付けます。
- シートを取り付ける (⇒ 64)

エンジンオイルを排出する

- シートを取り外す (⇒ 63)



! エンジンオイルは多すぎても少なすぎても、エンジンを損傷するおそれがあります。エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- 透明ホースのロック 2 の左右をつまんで、オイルタンクから引き上げます。
- 透明ホースをフレームから引き下げ、エンジンオイルを規定レベルになるまで適切な容器に排出します。
- 透明ホースをオイルタンクに差し込み、固定します。
- 余分なエンジンオイルは、環境に配慮した方法で保管または廃棄します。
- シートを取り付ける (⇒ 64)

ブレーキシステム一般

動作信頼性

ブレーキシステムが正常に機能することは、モーターサイクルの走行安全性のための基本前提です。

ブレーキシステムに異常を感じた場合は、走行しないでください。

そのような場合は、BMW Motorrad ディーラーにブレーキ

システムの点検を依頼してください。

! 作業が正しく行われなかった場合、ブレーキシステムの動作の確実性が損なわれます。ブレーキシステムに関するすべての作業は、BMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

ブレーキパッド

フロントブレーキパッド厚を点検する

! 使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低下し、

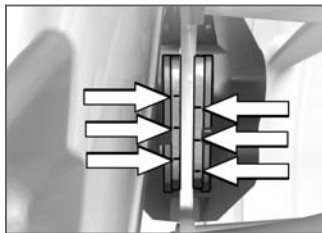
場合によってはブレーキが損傷します。


ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールおよびフロントサスペンション間からブレーキキャリアへ



 フロントブレーキパッドの摩耗限度


- min 1 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし))

- 摩耗インジケーター (溝) がはっきりと確認できなければなりません。

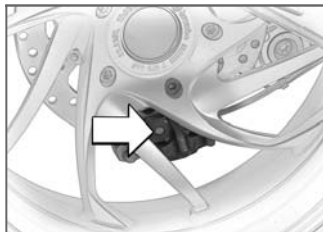
摩耗インジケーターが、はっきりと見えない場合：

- BMW Motorrad デイラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リヤブレーキパッド厚を点検する

 使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷します。ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッドの厚さを右側から目視点検します。



リヤブレーキパッドの摩
耗限度

- min 1 mm (ライニングの
み (キャリアプレートな
し))

- インナーブレーキパッ
ドの孔からブレーキディス
クが見えないこと。

ブレーキディスクが見える場
合:

- BMW Motorrad デー
ラーにブレーキパッドの交
換を依頼してください。

ブレーキフルード

フロントブレーキフルードレ ベルを点検する



ブレーキフルードリザー
バータンクのフルードが不
足している場合、ブレーキシ
ステム内にエアが入り込むおそ
れがあります。これは、ブレー

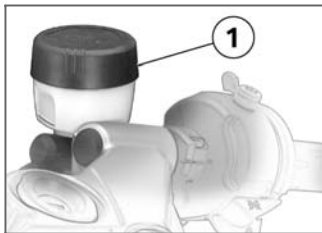
キ性能が著しく低下する原因と
なります。

ブレーキフルードレベルを定期
的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路
面に、モーターサイクルをまっ
すぐに立てます。

メイン (センター) スタンド^{OA}
あり:

- 平坦で、固くしっかりとした路
面に、モーターサイクルをメイ
ン (センター) スタンドで立て
ます。◀
- ハンドルを直進位置にします。



- ブレーキフルードリザーバータ
ンク 1 のブレーキフルードレ
ベルを読み取ります。



ブレーキパッドの摩
耗に伴い、リザーバータ
ンクのブレーキフルードレ
ベルは下がってきます。◀



フロントブレーキフルードレベル

- ブレーキフルード DOT4

- ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad デイラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する



ブレーキフルードリザーバタンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。

メイン(センター)スタンド OA あり：

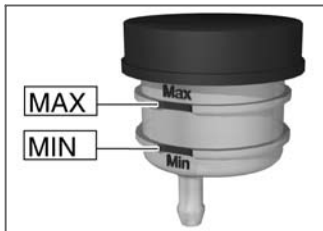
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◀



- ブレーキフルードリザーバタンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。



ブレーキパッドの摩耗に伴い、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



リヤブレーキフルード
レベル

– ブレーキフルード DOT4

– ブレーキフルードレベルが
MIN マークを下回らないよ
うにしてください。(ブレー
キフルードリザーバータン
クを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定
値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーに
できるかぎり早く故障の修
理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必
要があります。

抵抗がはっきりと感じられな
い場合：

- BMW Motorrad ディー
ラーにクラッチシステムの点
検を依頼してください。

クラッチフルードレベルを点 検する

- 平坦で、固くしっかりとした路
面に、モーターサイクルをま
すぐに立てます。

メイン(センター)スタンド^{OA}
あり：

- 平坦で、固くしっかりとした路
面に、モーターサイクルをメイ
ン(センター)スタンドで立
てます。◀
- ハンドルを直進位置にします。



- クラッチフルードリザーバータ
ンク 1 のクラッチフルードレ
ベルを読み取ります。

▶ クラッチの摩耗により、
クラッチフルードリザー
バータンク内のフルードレベ
ルが上昇しています。◀



クラッチフルードレベル

ー クラッチフルードレベルが下がらないこと。

フルードレベルが下がる場合：

! 適切でないフルードを使用すると、クラッチシステムの損傷を招くことがあります。フルードの注入は行わないでください。◀

- BMW Motorrad デイラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

▶ クラッチシステムには、交換する必要のない特別なフルードが使用されています。◀

タイヤ

タイヤのトレッド溝の深さを測定する

! トレッドが法定の最小残溝量に達していない場合でも、モーターサイクルの走行特性はすでに低下しているおそれがあります。タイヤは、トレッドが最小残溝量に達する前に交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

▶ 前後のタイヤには摩耗インジケーターがあり、メインのトレッド溝に組み込まれています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイールリム

目視点検

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷している場合は、BMW Motorrad デイラーに点検を依頼し、

必要に応じて交換してください。

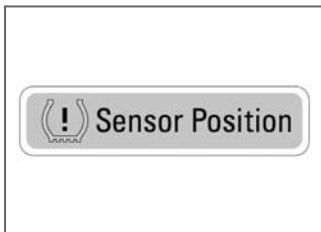
ホイール

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品が BMW Motorrad により検査され、走行安全性に優れているとしてランク付けされています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad では、BMW Motorrad の検査済みタイヤのみを使用することを推奨します。詳細については BMW Motorrad デイラーにお問い合わせいただくか、または www.bmw-motorrad.com をご覧ください。

RDC ラベル^{OE}



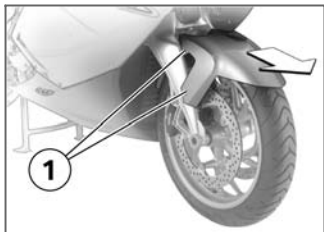
! タイヤの取外しが不適切な場合、RDC センサーが損傷するおそれがあります。ホイールに RDC センサーが装着されていることを BMW Motorrad デイラーに伝えてください。◀

RDC 装備のモーターサイクルには、ホイールリム上の RDC センサー位置に当該ラベルがあります。タイヤ交換の際には、RDC センサーを損傷しないように注意してください。BMW Motorrad デイラーまたはワークショッ

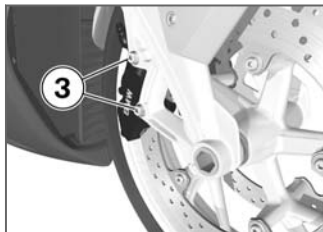
プに、RDC センサーが取り付けられていることを知らせます。

フロントホイールを取り外す

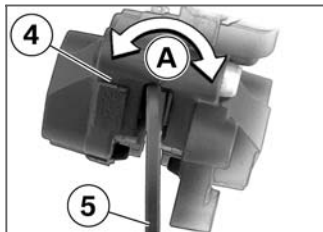
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける (▶ 112) メイン (センター) スタンド^{OA} あり:
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀



- ボルト 1 (左右) を取り外します。
- フロントフェンダーを前方へ引いて取り外します。



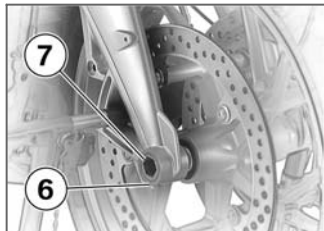
- !** 取り外した状態では、ブレーキパッドは押し压され、再度取り付ける際に、ブレーキディスクをブレーキパッド間に収めることが困難になる場合があります。ブレーキキャリパーを取り外した状態では、ブレーキレバーを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト 3 を取り外す。



- ブレーキキャリパー 4 を A の方向に回し、ブレーキパッドをブレーキディスク 5 から少し離れるように押します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- 左側ブレーキキャリパーを取り外す場合は、ABSセンサーケーブルが損傷しないように注意してください。
- フロントホイールが自由に回転するようになるまで、モー

ターサイクル前部を持ち上げます。モーターサイクルを持ち上げる場合、BMW Motorrad は BMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用をお勧めします。

- フロントホイールスタンドを取り付ける (➡ 111)



! 左側アクスルクランプボルトはフロントサスペンション内のブッシュを固定します。ブッシュの調整が正しくない場合、ABS センサーリングと ABS センサー間の間隔も正常でなくなるため、ABS 機能障害や ABS センサーの破損が生じます。

確実にブッシュを正しく調整するために、左側アクスルクランプボルトを緩めたり、取り外したりしないでください。◀

- 右アクスルクランプボルト 6 を外します。
- ホイールを保持しながら、アクスルシャフト 7 を取り外します。
- フロントホイールガイドに収まっているフロントホイールを、地面の上に立てます。

! フロントホイールを転がし出す場合、ABS センサーが損傷するおそれがあります。

フロントホイールを転がし出す際は、ABS センサーに注意してください。◀

- フロントホイールを前へ転がして取り外します。

フロントホイールを取り付ける

! ABS 機能障害は、不適切な回転信号が原因です。区別してセグメント分けされているセンサーホイールを、取り違えないように注意してください。必ず該当する型式用の適切なセンサーホイールを取り付けます。◀

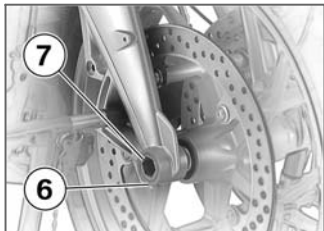
! ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ず BMW Motorrad デイラーに依頼してください。◀

! フロントホイールは必ず回転方向に取り付けてください。タイヤまたはホイールリムに付いている回転方向を示す矢印に注意してください。◀

! 以下の作業では、フロントブレーキの部品、特にBMW Motorrad Integral ABSの部品が損傷するおそれがあります。


ブレーキシステムの部品、特にケーブル付き ABS センサーや ABS センサーリングが損傷しないように注意してください。◀

- フロントホイールをフロントホイールガイドへ転がし入れます。




- フロントホイールを持ち上げ、アクスルシャフト 7 を締

付けトルクで締め付け
て取り付けます。

 ブッシュ内アクスル
シャフト

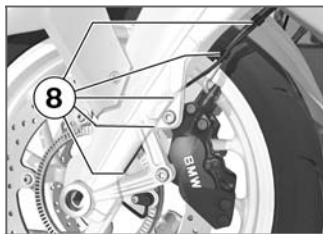
- 50 Nm

- 右側アクスルクランプボルト 6 を締め付けトルクで締め付けま
す。

 ホイールキャリア内アク
スルシャフトとクランピ
ングボルト

- 19 Nm

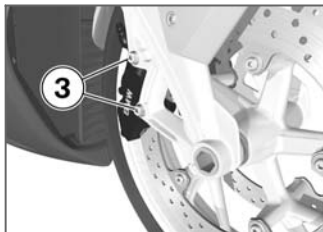
- フロントホイールスタン
ドを取り外します。
- ブレーキキャリアをブレーキ
ディスクに取り付けます。



! ABS センサーケーブルがブ
レーキディスクに接触する
と、ケーブルが摩耗するおそれ
があります。

ABS センサーケーブルが正し
く取り回されているか注意して
ください。◀

- ABS センサーケーブルを慎
重に取り回します。その際、
ABS センサーケーブルがホー
ルドクランプ 8 に留められて
いることを確認します。



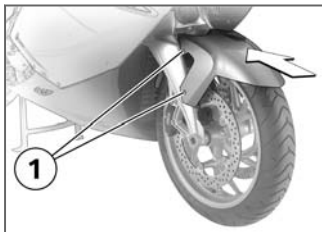
- 左右の固定ボルト **3** を規定トルクで締め付け、取り付けます。



フロントブレーキキャリア
パとホイールキャリア

- 30 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。
- 抵抗が感じられるようになるまで、ブレーキレバーを数回強く操作します。

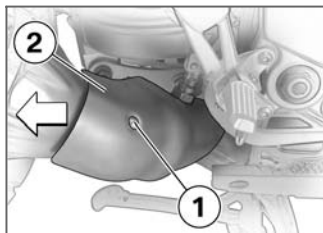


- フロントフェンダーと左右ボルト **1** を取り付けます。
- 必要に応じて、リアホイールスタンドを取り外します。

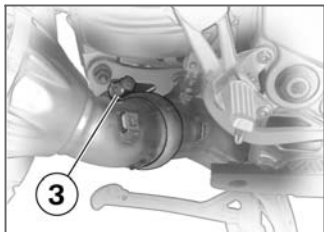
リアホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
 - リヤホイールスタンドを取り付ける (▶▶ 112)
- メイン (センター) スタンド OA あり:
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイ

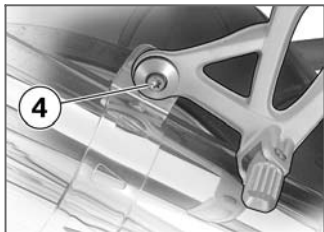
ン (センター) スタンドで立てます。◁



- ボルト **1** をマフラーカバー **2** から取り外します。
- カバーを後方へ引いて外します。



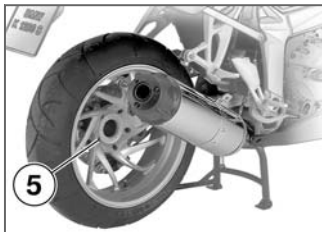
- マフラーのクランプストラップ 3 を外します。
- クランプのシールグリースは取り除かないでください。



- マフラーホルダーとパッセンジャー用フットレストを固定し

ているボルト 4 を取り外します。

- マフラーを外側へ回します。
- ギヤを 1 速に入れます。

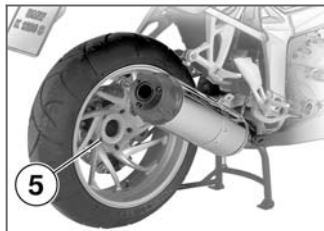


- ホイールを保持しながら、リヤホイールの固定ボルト 5 を取り外します。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを取り外します。
- リヤホイールを地面に下ろします。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロ

ックワッシャーを再度取り付けます。

リヤホイールを取り付ける

- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを取り外します。
- リヤホイールをリヤホイールサポートに転がし入れます。
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを再度取り付けます。



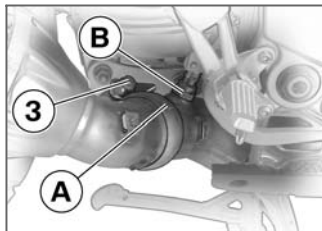
リヤホイールとホイール
フランジ

- 60 Nm

- マフラーを元の位置に戻します。



- マフラーホルダーのボルト 4 をパッセンジャー用フットレストに取り付けます。ただし、まだ締め付けないこと。



- マフラーのクランプストラップ 3 をラムダセンサー B のマーク A (矢印) に合わせます。
- クランプストラップ 3 を締め付けトルクでマフラーに締め付けます。

マフラーとマニホールド



- 35 Nm

! ボルト締め付け部の締め付けトルクが不適切な場合、締め付けが緩んだり、ボルト締め付け部が損傷するおそれがあります。

締め付けトルクの点検は、必ず BMW Motorrad デイラーに依頼してください。◀

- ホイールスタッド 5 を取り付け、対角の順に規定トルクで締め付けます。

リヤホイールとホイール
フランジ

- 締め付け順序:
対角の順に締め付ける



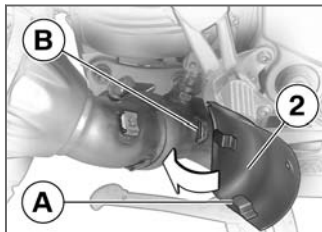
! リヤホイールとマフラーの間隔が狭い場合、リヤホイールが過熱するおそれがあります。
リヤホイールとマフラーの間隔は、10 mm 以上必要です。◀

- マフラーホルダーのボルト **4** を、パッセンジャー用フットレストに締付けトルクで締め付けます。

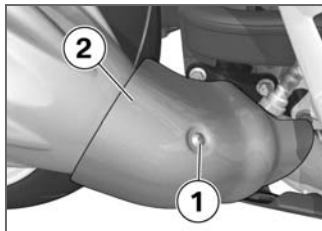


マフラーとパッセンジャー用フットレスト

- 22 Nm



- マフラーカバー **2** をガイド **A** と共にクランプ **B** に押し込みます。



- ボルト **1** をマフラーカバー **2** に取り付けます。
- 必要に応じて、リヤホイールスタンドを取り外します。

フロントホイールスタンド

使用

フロントホイールを簡単かつ安全に交換できるように、BMW Motorrad ではフロントホイールスタンドをご用意しています。フロントホイールスタンド (BMW スペシャルツール番号 36 3 971) は、BMW Motorrad ディーラーでお求めください。ご使用に際しては、アダプターピース (BMW スペシャルツール番号 36 3 973) も必要になります。



! BMW Motorrad フロントホイールスタンドは、メイン (センター) スタンドや他の補助スタンドを使用しないでモーターサイクルを保持できるようには設計されていません。モーターサイクルをフロントホイールスタンドとリ

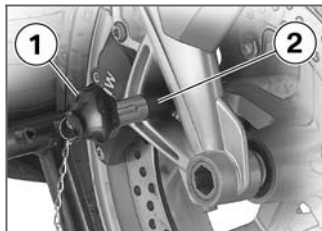
ヤホイールのみで立てると、転倒するおそれがあります。モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、メイン(センター)スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀


フロントホイールスタンドを取り付ける

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- メイン(センター)スタンド^{OA}あり:
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◀



- 調整ボルト 1 を緩めます。
- 両方の取付けピン 2 を外側へ押し、フロントサスペンションが間に収まるようにします。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン 3 を使用して希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



- 両方の取付けピン 2 をブレーキキャリパー固定部の三角部分に通して、フロントホイールがまだ回転する程度まで内側へ押します。
-  BMW ABS の場合、ABS センサーリングが損傷するおそれがあります。取付けピンは、BMW ABS のセンサーリングに触れない程度に、内側へ押ししてください。◀
- 調整ボルト 1 を締め付けます。



! モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てた場合：モーターサイクル前部を持ち上げすぎると、メイン（センター）スタンドが地面から浮き上がり、モーターサイクルが横転する可能性があります。

持ち上げる際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。◀

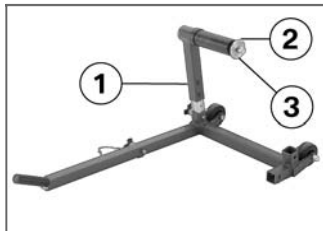
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

リヤホイールスタンド

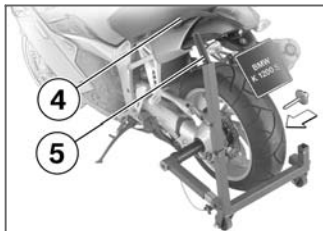
使用

メイン（センター）スタンドを装備していないモーターサイクルでも安全に作業できるように、BMW Motorrad では、リヤホイールスタンドをご提供しています。このリヤホイールスタンド（BMW スペシャルツール番号 36 3 980）は、BMW Motorrad デイラーでお求めください。

リヤホイールスタンドを取り付ける



- リヤホイールスタンドを、ボルト 1 を使用して希望の高さに調整します。
- ロック解除用ボタン 3 を押して、ロックワッシャー 2 を外します。



- リヤホイールスタンドを左側からリヤアクスルに押し込みます。
- ロック解除用ボタンを押し、リテーニングディスクを右側から取り付けます。
- 左手をモーターサイクルの左グラブハンドル 4 に、右手をリヤホイールスタンドのレバー 5 に置きます。



- モーターサイクルを起こしながら、同時にレバーを押し下げ、モーターサイクルをまっすぐに立てます。



- 接地するまでレバーを押し下します。

バルブ

一般的な情報

バルブの故障は、ディスプレイのバルブ故障マークにより警告されます。ブレーキライトまたはテールライトの故障の場合は、さらにジェネラル警告灯（黄）が点灯します。テールライトが故障すると、代わりにブレーキライトが使用され、2 番目のフィラメントの光度がテールライトのレベルに減光されます。その際も、テールライトの故障は、ディスプレイに表示されたままになります。



モーターサイクルのバルブが故障していると、その車両は他の走行車両などから見えにくくなり、危険にさらされることとなります。故障したバルブはできる限り早く交換してください。適切なスペアバルブを常備することをお勧めします。◀

! バルブには圧力がかけられているため、損傷している場合はケガをするおそれがあります。

バルブを交換する際には、防護用のメガネおよび手袋を着用してください。◀

▶ あなたのモーターサイクルに取り付けられているバルブのタイプを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。◀

▶ 新しいバルブに素手で触れないでください。バルブを取り付ける際は、乾いた清潔な布を使用してください。オイルやグリースなどの汚れがバルブに付着すると、バルブの熱放射が妨げられます。これが、過熱やバルブの寿命を短くする原因となります。◀

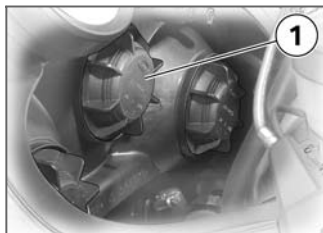
ロービームバルブを交換する

! 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

▶ 作業がしやすくなるよう、ハンドルバーを左に回して下さい。◀



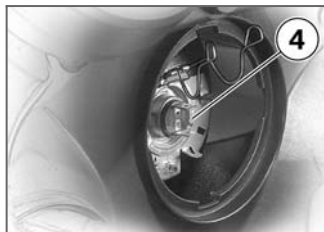
- カバー 1 を反時計回りに回して緩め、取り外します。



- コネクター 2 を外します。



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーから外し、上へ折り曲げます。

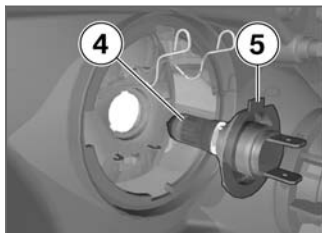


- バルブ 4 を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ロービーム用バルブ

- H7 / 12 V / 55 W



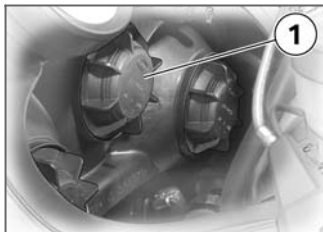
- バルブ 4 を取り付けます。その際、ノーズ 5 が上方へ向くように注意します。



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーに固定します。



- コネクター 2 を接続する。



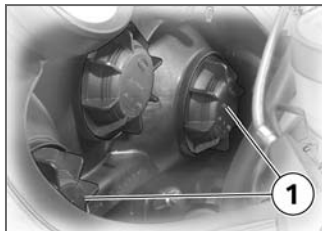
- カバー 1 を時計回りに回して取り付けます。

ハイビームバルブを交換する

! 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

▶ 作業がしやすくなるよう、ハンドルバーを左に回して下さい。◀



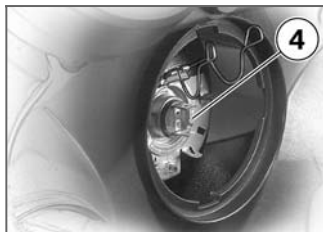
- カバー 1 を反時計回りに回して緩め、取り外します。



- コネクター 2 を外します。



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーから外し、上へ折り曲げます。

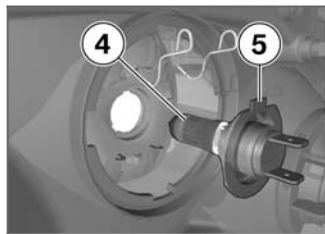


- バルブ 4 を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ハイビーム用バルブ

- H7 / 12 V / 55 W



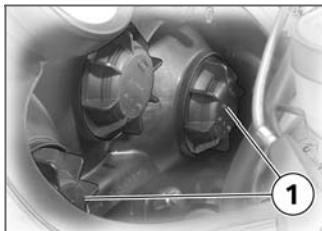
- バルブ 4 を取り付けます。その際、ノーズ 5 が上方へ向くように注意します。



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーに固定します。



- コネクター 2 を接続する。



- カバー 1 を時計回りに回して取り付けます。

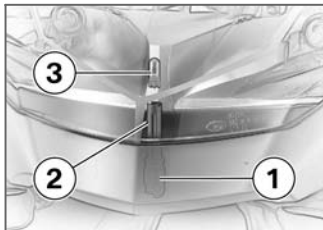
ポジション / パーキングライトバルブを交換する

⚠ 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。

- イグニッションを OFF にします。

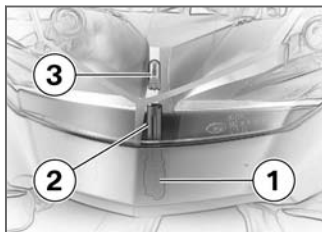


- ヘッドライト下のコネクター 1 を引いて外します。
- バルブソケット 2 を反時計回りに回して、ヘッドライトハウジングから取り外します。
- バルブ 3 をバルブソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ポジションライト / パーキングライトバルブ

- W5W / 12 V / 5 W



- バルブ 3 をバルブソケット 2 にセットします。
- バルブソケットを時計回りに回してヘッドライトハウジングに取り付けます。
- ヘッドライト下のコネクター 1 を接続します。

ブレーキライト / テールライトバルブを交換する

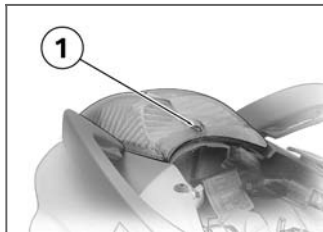


次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

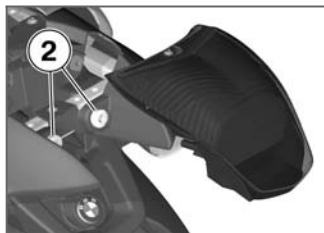
モーターサイクルがしっかり

と立っているか確認してください。◀

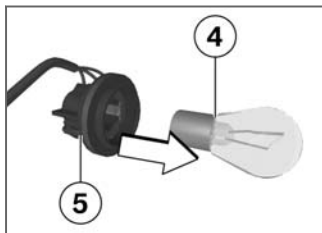
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。
- シートを取り外す (⇒ 63)




- ボルト 1 を取り外します。



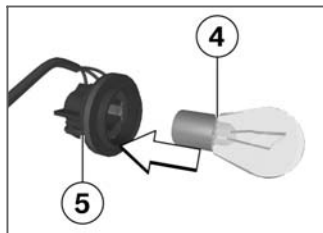
- バルブハウジング 2 を後方へ引いて、ホルダーから取り外します。



- バルブ 4 をソケット 5 に押し込み、反時計回りに回して取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

	テールライト / ブレーキ ライトバルブ
---	-------------------------

- P21W / 12 V / 21 W



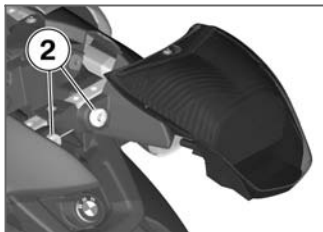
- バルブ 4 をソケット 5 に押し込み、時計回りに回して取り付けます。



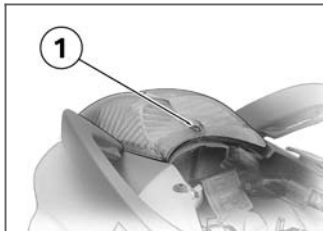
- バルブソケット 3 を反時計回りに回し、バルブハウジングから取り外します。



- バルブソケット 3 を時計回りに回してバルブハウジングに取り付けます。



- バルブハウジングをホルダー 2 にセットします。



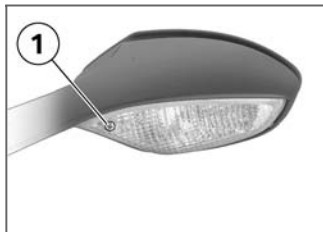
- ボルト 1 を取り付けます。
- シートを取り付ける (⇒ 64)

フロントウインカーバルブを交換する

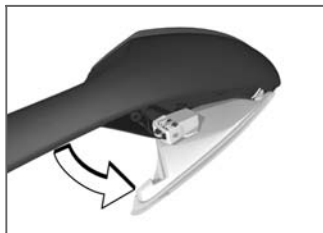
! 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。
モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

! 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。
モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。




- ボルト 1 を取り外します。



- バルブハウジングのボルト固定側をミラーハウジングから引いて外します。



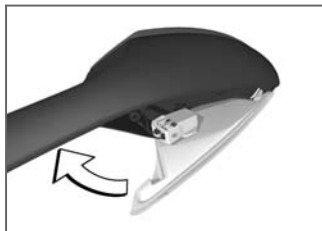
- バルブソケット 2 を反時計回りに回し、バルブハウジングから取り外します。
- バルブ 3 をバルブソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換する

 フロントウインカー用バルブ

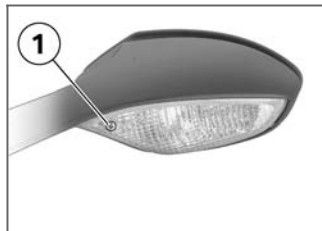
- W16W / 12 V / 16 W



- バルブ 3 をバルブソケット 2 にセットします。
- バルブソケットを時計回りに回してバルブハウジングに取り付けます。




- バルブハウジングをミラーハウジングにセットします。



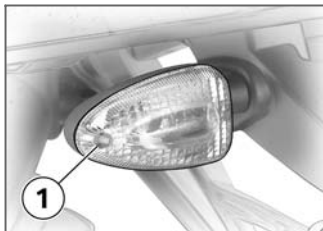
- ボルト 1 を取り付けます。

リヤウインカーバルブを交換する

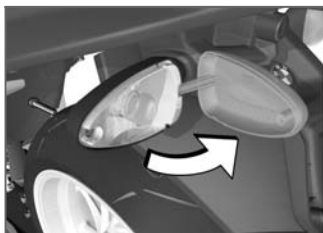
 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

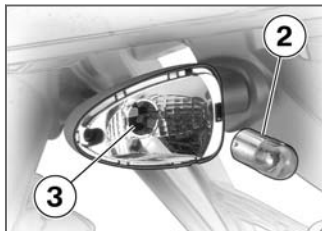
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト 1 を取り外します。



- バルブハウジングのボルト固定側を、ウインカーハウジングから引いて外します。

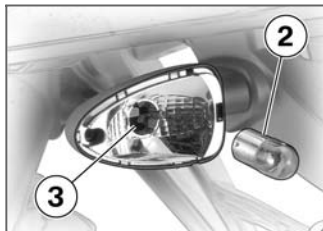


- バルブ 2 をソケット 3 に押し込み、反時計回りに回して取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

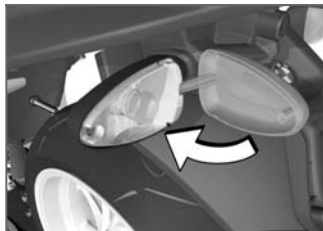


リヤウインカー用バルブ

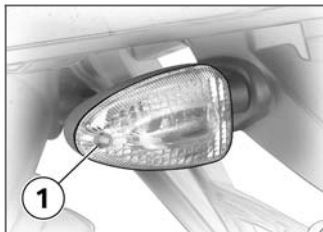
- R10W / 12 V / 10 W



- バルブ 2 をソケット 3 に押し込み、時計回りに回して取り付けます。



- バルブハウジングをウインカーハウジングに取り付けます。



- ボルト 1 を取り付けます。

ジャンプスタート

! 電源ソケット用電気配線の負荷容量は、他車のバッテリーなどと接続してモーターサイクルを始動させるようには設計されていません。高電流により、ケーブルから火災が発生したり、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。モーターサイクルのジャンプスタートを行う際に、電源ソケットは使用しないでください。◀

! エンジン作動時に、イグニッションシステムの通電部品に触れると、感電するおそれがあります。エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀

! ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接続を誤ると、ショートが引き起こされるおそれがあります。必ず、完全絶縁タイプのクランプをつけたジャンパーコードを使用してください。◀

! ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行うと、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。供給側車両のバッテリー電圧が、12 V であることを確認してください。◀

- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。

- バッテリー収納部カバーを取り外す (▶▶ 125)
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- ジャンパーコード (赤) の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します。
- ジャンパーコード (黒) の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナルに接続します。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保

護のため、数分経ってから再始動させてください。

- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。
- バッテリー収納カバーを取り付ける (▶▶▶ 126)

バッテリー

メインテナンスに関する注意

正しいメインテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ
- バッテリーを開けない
- バッテリーに水を補充しない

- バッテリーの充電の際は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う
- バッテリーを逆さまにしない



バッテリーを接続したままにしておくと、電装品(時計など)がバッテリーを放電してしまいます。これは、バッテリーの過放電の原因になります。この場合は、保証の対象になりません。

4週間以上運転しない場合には、バッテリーの接続を車両から外してください。◀



BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発いたしました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報については、BMW Motorrad デイラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する



バッテリーを接続したままバッテリーターミナルから直接充電すると、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

バッテリーターミナルからバッテリーの充電を行う場合は、その前にバッテリーを車体から取り外してください。◀



イグニッションが ON の状態で、インジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが消灯したままの場合は、バッテリーが完全に放電しています。完全に放電したバッテリーの充電を電源ソケットから行くと、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

完全に放電したバッテリーは、必ず接続を外し、ターミナルから直接充電してください。◀



バッテリーの充電を電源ソケットから行う場合は、必ず適切なバッテリーチャージャーを使用してください。不適切なバッテリーチャージャーを使用すると、車両の電子機器が故障するおそれがあります。

部品番号 71 60

7 688 864 (220 V) または 71 60 7 688 865 (110 V) の BMW バッテリーチャージャーを使用してください。手元にない場合は、外したバッテリーを直接ターミナルから充電してください。◀

- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。



バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。



電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

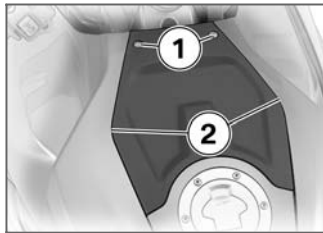


長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合は、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する

前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

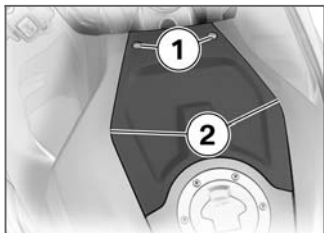
バッテリー収納部カバーを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ボルト 1 を取り外します。その際、ロック 2 に注意します。
- バッテリー収納部のカバーを前方側へ取り外します。

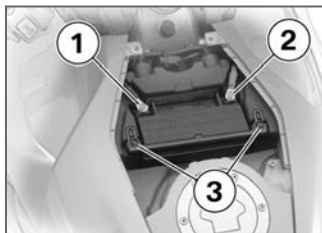
バッテリー収納部力 バーを取り付ける



- バッテリー収納部の力バーを組み込みます。その際、ロック 2 に注意します。
- ボルト 1 を取り付けます。

バッテリーを取り外す

- バッテリー収納部力バーを取り外す (➡ 125)

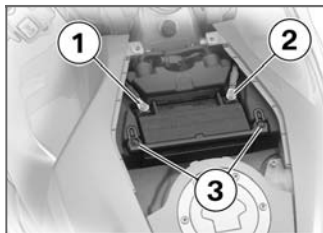


! 取り外し順序を間違えると、ショートの高まり危険性が高まります。必ず作業順序を遵守してください。◀

- 先にマイナス配線 1 を取り外します。
- その後、プラス配線 2 を取り外します。
- ボルト 3 を外し、クランプを後方へ引きます。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

バッテリーを取り付ける

- バッテリーを、プラスターミナルが進行方向で右側にくるよう、バッテリー収納部にセットします。



- クランプをバッテリーの上にならず、ボルト 3 を取り付けます。

! 取り付け順序を間違えると、ショートの高まり危険性が高まります。必ず作業順序を遵守してください。◀

- まずバッテリープラス配線 2 を取り付けます。

- その後、バッテリーマイナス配線 1 を取り付けます。
- バッテリー収納部カバーを取り付ける (▶▶▶ 126)
- イグニッションを ON にします。

▶ 車両からバッテリーが長時間外されていた場合、サービス表示の正常な機能を保証するため、現在の日付をメーターパネルに入力する必要があります。

日付の調整に関しては、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◀


- スロットルを 1、2 回全開にします。
- » エンジンマネジメントシステムが、スロットルバタフライ開度を検知します。
- 時計を調整する (▶▶▶ 44)

お手入れ

ケア用品	130
洗車	130
損傷しやすい車両部品のお手 入れ	130
塗装のお手入れ	131
保護コーティング	132
長期保管	132
再使用	132

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品を BMW Motorrad デイラーでお求めになることをお勧めします。BMW ケア製品は、原料のテスト、製品の研究機関におけるテストや試用テストが行われています。BMW ケア製品は、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。


 不適切なクリーナー / ケア製品を使用すると、モーターサイクルの部品が損傷するおそれがあります。ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリンをはじめ、アルコールを含んだクリーナーを清掃に使用しないでください。◀

洗車


BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。


しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。

ブレーキが乾くまでは、早めにブレーキングしてください。◀

 温水を使用すると塩の化学反応が強まります。散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀


 スチームクリーナーの高い水圧により、シールや油圧ブレーキシステム、電装システム、シートが損傷するおそれがあります。スチームクリーナーや高圧ジェットは使用しないでください。◀


損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

プラスチック部品は、水と BMW プラスチックケア製品を使用し、清掃してください。該部品：


- ウインドシールドおよびウインドディフレクター
- プラスチック製ヘッドライトレンズ
- メーターパネルのカバーガラス
- 非塗装ブラックパーツ

 プラスチック部品の清掃に不適切なクリーナーを使用すると、表面が損傷するおそれがあります。プラスチック部品を清掃する際には、アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。また、地面などに落ちたスポンジや、表面の硬いスポンジを使用した場合も、損傷を招くおそれがあります。◀

 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

ウインドシールド

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

 ガソリンや化学溶剤はウインドシールドの素材を損ないます。ウインドシールドが曇り、見通せなくなりません。洗剤は使用しないでください。◀


クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター


ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分のために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。

園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

 ラジエターのフィンは、簡単に曲がりません。ラジエターを清掃する際には、フィンを曲げないように注意してください。◀

ラバー

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。

 ラバーシールの手入れにシリコンスプレーを使用すると、損傷するおそれがあります。シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去す

ることができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。この場合、BMW ポリッシャーや BMW ペイントクリーナーを使用してください。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、ターム系の汚れには、BMW タールリムーバーをご使用になることをお勧めします。その後、その箇

所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW ワックスやカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

ペイントに保護コーティングを施すべきかどうか、最もよくわかるのは、水滴が水玉にならなくなった場合です。

長期保管

- 洗車します。
- バッテリーを取り外します。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン（センター）スタンド、サイドスタンドのピボットに、適切な潤滑剤を塗布します。

- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース（ワセリン）を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します。

▶ モーターサイクルを長期保管する前に、エンジンオイルとオイルフィルターを BMW Motorrad ディーラーで交換してください。モーターサイクルを長期保管する際や再使用する際に、定期点検や整備の時期が近づいている場合、BMW Motorrad ディーラーにサービスやインスペクションも同時に依頼してください。◀

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。

- 充電済みのバッテリーを取り付けます。
- 始動前に、チェックリストを確認します。

仕様 (諸元)

トラブルシューティング	136
ネジ止め部	137
エンジン	138
燃料	139
エンジンオイル	139
クラッチ	140
ギヤボックス	140
リヤホイールドライブ	141
サスペンション	141
ブレーキ	142
ホイールとタイヤ	143
エンジン電装	145
フレーム	146
寸法	147
重量	147

性能	148
----------	-----

トラブルシューティング

エンジンが始動しない / 始動しにくい

考えられる原因

除去

イグニッションキルスイッチが操作されていません。

イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。

サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っていません。

サイドスタンドを格納します (▶▶ 70)。

ギヤが入っていて、クラッチを切っていない

ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります (▶▶ 70)。

イグニッションが OFF の状態で、クラッチが操作されています。

イグニッションを ON にしてから、クラッチを操作します。

燃料が入っていません。

給油 (▶▶ 76)

バッテリーの充電が不足しています。

接続しているバッテリーを充電する (▶▶ 124)

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
フロントブレーキキャリパとホイールキャリア		
M8 x 32 -10.9	30 Nm	
ホイールキャリア内アクスルシャフトとクランピングボルト		
M8 x 30	19 Nm	
ブッシュ内アクスルシャフト		
M24 x 1.5	50 Nm	
リヤホイール	数値	有効
マフラーとパッセンジャー用フットレスト		
M8 x 30	22 Nm	
マフラーとマニホールド		
M8 x 60 - 10.9	35 Nm	
リヤホイールとホイールフランジ		
ネジ部をカットしたホイールキャリア, M10 x 1.25 x 40	対角の順に締め付ける 60 Nm	

エンジン

エンジン型式	横置き、前傾角 55°、水冷直列 4 気筒 4 ストローク、DOHC およびロッカーアーム制御、1 気筒あたり 4 バルブ、ドライサンプ潤滑方式、電子制御燃料噴射、一体型 6 速カセットギヤ
排気量	1157 cm ³
シリンダーボア	79 mm
ピストンストローク	59 mm
圧縮比	13 : 1
最高出力	123 kW, エンジン回転数: 10250 min ⁻¹
低出力仕様 74kW ^{OE} あり:	74 kW, エンジン回転数: 7000 min ⁻¹
低出力仕様 79kW ^{OE} あり:	79 kW, エンジン回転数: 8750 min ⁻¹
最大トルク	130 Nm, エンジン回転数: 8250 min ⁻¹
低出力仕様 74kW ^{OE} あり:	110 Nm, 時: 5250 min ⁻¹
低出力仕様 79kW ^{OE} あり:	103 Nm, 時: 4500 min ⁻¹
最高回転数	max 11000 min ⁻¹
アイドリング回転数	1150 ^{±50} min ⁻¹

燃料

推奨フューエルグレード	98 ROZ/RON, 無鉛プレミアム 95 ROZ/RON, 無鉛スーパー (出力および燃費に関する条件付きで使用可能な燃料の種類)
フューエル容量	19 l
フューエルリザーブ容量	≥4 l

エンジンオイル

エンジンオイル容量	3.5 l, フィルター交換時 0.5 l, 最低レベル (MIN) と最高レベル (MAX) の差
潤滑剤	Castrol GPS 10W-40 (SAE 10W40; API SG; JASO MA)
オイルグレード	API クラス SF から SH までの鉱物性エンジンオイル。オイル添加物はクラッチ機能を悪化させる場合があるため、BMW Motorrad はオイル添加物の使用を認めていません。ご愛用のモーターサイクルに適したエンジンオイルについては、BMW Motorrad デイラーにおたずねください。
許容粘度グレード	
SAE 10 W-40	≥-20 °C, 低温での作動
SAE 15 W-40	≥-10 °C

クラッチ

クラッチ型式	湿式多板クラッチ
--------	----------

ギヤボックス

ギヤボックス型式	常時噛み合い式 6 速トランスミッションをエンジンブロックに内蔵
ギヤ比	1.559 (92:59 丁), 一次減速比 2.294 (39 : 17 丁), 1 速 1.789 (34 : 19 丁), 2 速 1.458 (35 : 24 丁), 3 速 1.240 (31:25 丁), 4 速 1.094 (35:32 丁), 5 速 0.971 (33:34 丁), 6 速 1.045 (23:22 丁), ベベルギヤ

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	BMW EVO パラレバー、アルミキャストシングルスイングアーム、ダブルジョイント、トルクサポート方式
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.82

サスペンション

フロントサスペンション型式	ダブルリーディングアーム
スプリングトラベル (フロント)	125 mm, ホイールで
リヤサスペンション型式	レバーシステムを介して操作されるコイルプレッシャー・スプリング付きセンター・スプリングストラットおよびシングルチューブガス封入式ショックアブソーバー。スプリングプリロードは油圧式で無段階に調整可能、リバウンドダンピングは無段階に調整可能
Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA) ^{OE} あり:	レバーシステムを介して操作されるコイルプレッシャー・スプリング付きセンター・スプリングストラットおよびシングルチューブガス封入式ショックアブソーバー。スプリングベースは3段階式、コンプレッション / リバウンドステージはそれぞれ3段階に調整可能

スプリングトラベル (リヤ)	135 mm, ホイールで
ブレーキ	
フロントブレーキ型式	4 ピストン固定キャリパーを搭載した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント。
フロントブレーキパッドの素材	焼結合金
リヤブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リヤブレーキパッドの素材	有機素材

ホイールとタイヤ

編集終了時点での承認タイヤ (2007 年 4 月 24 日現在)	フロント : Bridgestone、BT 014 F Radial F、120/70 ZR17 M/C (58W) リヤ : Bridgestone、BT 014 R Radial F、190/50 ZR17 M/C (73W)
	フロント : Continental、Conti Sport Attack C、120/70 ZR17 M/C (58W) リヤ : Continental、Conti Sport Attack C、190/50 ZR17 M/C (73W)
	フロント : Metzeler、Sportec M-1 B、120/70 ZR17 M/C (58W) リヤ : Metzeler、Sportec M-1 B、190/50 ZR17 M/C (73W)
	フロント : Michelin、Pilot Power B、120/70 ZR17 M/C (58W) リヤ : Michelin、Pilot Power P、190/50 ZR17 M/C (73W)
	フロント : Michelin、Pilot Road TL、120/70 ZR17 M/C (58W) リヤ : Michelin、Pilot Road R TL、190/50 ZR17 M/C (73W)

	フロント : Pirelli、Diabolo E TL、120/70 ZR17 M/C (58W) リヤ : Pirelli、Diabolo E TL、190/50 ZR17 M/C (73W)
--	--

フロントホイール

フロントホイール型式

アルミキャスト、MT H2

フロントホイールリムサイズ

3.50" x 17"

フロントタイヤサイズ

120/70 ZR 17

リヤホイール

リヤホイール型式

アルミキャスト、MT H2

リヤホイールリムサイズ

6.00" x 17"

リヤタイヤサイズ

190/50 ZR17

タイヤ充填圧

フロントタイヤ充填圧

2.5 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時)
2.5 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)

リヤタイヤ充填圧

2.9 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時)
2.9 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)

エンジン電装

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A
ヒューズ	すべての電気回路が電子制御により保護されていますので、差し込み式ヒューズは必要ありません。電子ヒューズにより電気回路が遮断された場合、故障の修理後にイグニッションを ON にすると、電気回路は再び作動状態になります。
バッテリー	
バッテリーのメーカーおよび名称	Yuasa YTX 14 BS
バッテリー型式	AGM (吸着ガラスマット) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	14 Ah
仕様 (諸元)	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK KR9CI
スパークプラグの電極ギャップ	0.8 mm, 新品時の状態

バルブ

ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
ロービーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
テールライト / ブレーキライトバルブ	P21W / 12 V / 21 W
フロントウインカー用バルブ	W16W / 12 V / 16 W
リヤウインカー用バルブ	R10W / 12 V / 10 W

フレーム

フレーム型式	軽合金鋳造、スチールパイプリヤフレームをボルト留めした溶接構造
型式プレート的位置	フレームクロスパイプ後部
フレーム番号的位置	右サイドフレーム前側

寸法

全長	2182 mm
全高	1211 mm, 空車時
全幅	905 mm, ミラー含む
フロントシート高さ	820 mm, ライダー非乗車時
ローフロントシート ^{OE} あり:	790 mm, ライダー非乗車時

重量

車両重量	248 kg, 空車時、走行可能状態、燃料満載時の90%、オプション非装備
許容総重量	450 kg
最大積載荷重	202 kg

性能

最高速度


>200 km/h

サービス

BMW Motorrad サービス	150
BMW Motorrad サービスクオリティ	150
BMW Motorrad サービスネットワーク	150
メンテナンス作業	151
点検記録	152
一般整備記録	157

BMW Motorrad サービス

常に進歩し続ける技術には、専用のメンテナンスおよび修理方法で対応することが不可欠です。

 適切でないメンテナンスや修理作業がなされた場合、損傷や安全にかかわる危険が発生します。

BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業は、BMW Motorrad デイラーに依頼することをお勧めします。◀

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad デイラーにおたずねください。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。

BMW Motorrad デイラーには常に最新の技術情報が提供されており、必要な技術的ノウハウが蓄積されています。BMW Motorrad は、ご愛用のモーター

サイクルに関するどのような事柄でも、BMW Motorrad デイラーに相談なさることをお勧めいたします。

BMW Motorrad サービス クオリティ

BMW Motorrad がご提供するものは良質の製品や高い信頼性のみに留まりません。サービスのクオリティも、際立っています。

あなたの BMW モーターサイクルが最適な状態にあるかどうか確認するため、BMW Motorrad は、BMW Motorrad デイラーで規定の定期点検を実施することをお勧めします。また、保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

摩耗は徐々に進行するため、気がついたときには多額の修理費がかかることもまれではありません。

ません。BMW Motorrad デイラーには、個々のモーターサイクルの正確な履歴が保存されています。このため、ささいな問題が大規模な故障に発展する前に、的確なアドバイスを受けることができます。必要な修理を、正しいタイミングで的確に実施することで、時間と経費を節約できます。

BMW Motorrad サービス ネットワーク

BMW Motorrad の広範囲にわたるサービスネットワークは、世界 100 ヶ国以上でお客様とモーターサイクルへのサービスを提供しています。ドイツ国内のみにおいても、約 200 の BMW Motorrad デイラーでしっかりとした対応を受けられます。

世界のディーラーネットワークに関する情報はすべて、冊子「Service Contact Europe」または「Service Contact

Africa, America, Asia, Australia, Oceania」にあります。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検 (PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、納車前に BMW Motorrad デイラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 ~ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad デイラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1 年間にかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録された時期以前にサー

ビスを実施する必要がある場合があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、約 1 ヶ月後の登録日または 1000 km の登録距離になる前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

点検記録

BMW 納車前点検 (PDI)

実施済

日付 _____

スタンプ、署名**BMW 初回点検**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

A

ABS

- 警告表示, 29
- 自己診断, 71

ASC

- OFF にする, 55
- ON にする, 56
- 警告表示, 31, 33
- 自己診断, 72

E

- ESA, 15, 59
- EWS, 43
- 警告表示, 24

い

- イグニッション
 - OFF にする, 42
 - ON にする, 42
- イグニッションキルス
 - イッチ, 16, 54
- イモビライザー, 43
- 警告表示, 24
- インジケーター / 警告灯, 17

う

ウインカー

- OFF にする, 16, 53
- 左, 15, 53
- 右, 16, 53

え

エンジン

- エンジンマネジメントシステム警告表示, 24
- 仕様 (諸元), 138

エンジンオイル

- エンジンオイルプレッシャー警告表示, 25
- エンジンオイルレベル警告表示, 29
- 仕様 (諸元), 139
- 排出する, 97
- 補充する, 14, 96
- レベルを点検する, 13, 95

エンジン電装

- 仕様 (諸元), 145

お

オドメーターとトリップメーター

- 表示を選択する, 45
- リセットする, 46

オンボードコンピューター

- オイルレベル注意, 50
- 外気温度, 48
- 走行可能距離, 50
- 表示を選択する, 48
- 平均速度, 49
- 平均燃費, 49

き

- キー, 42
- 記号と意味, 6
- ギヤインジケーター, 20
- ギヤボックス
 - 始動, 70
 - 仕様 (諸元), 140
- 給油, 76

<

クーラント

- 温度計, 20
- 警告表示, 24

ク

- 機能を点検する, 101
- クラッチレバーを調整する, 56
- 仕様 (諸元), 140
- レベルを点検する, 11, 101
- グリップヒーター, 16, 55

け

- 警告灯, 17
- 警告表示
- 表示, 22
- 警告表示一覧, 23, 28, 30, 32, 35, 39
- ケース
- 調整する, 89, 91
- 閉じる, 89
- 取り付ける, 90
- 取り外す, 89
- 開く, 88

さ

- サービス, 150
- ディスプレイに表示, 21
- 再使用, 132
- サイドスタンド
- 始動, 70

サ

- サスペンション

- 仕様 (諸元), 141

し**シート**

- 取り付ける, 64
- 取り外す, 63
- ロック, 11
- ジャンプスタート, 123
- 修理キット, 91
- 仕様 (諸元)
- エンジン, 138
- エンジンオイル, 139
- エンジン電装, 145
- 規格, 7
- ギヤボックス, 140
- クラッチ, 140
- サスペンション, 141
- スパークプラグ, 145
- 燃料, 139
- バッテリー, 145
- バルブ, 146
- ブレーキ, 142
- フレーム, 146
- ホイールとタイヤ, 143
- リヤホイールドライブ, 141

シ

- ショックアブソーバー

- 調整する, 11, 59

す

- スターターモーター, 16
- ステアリングロック
- ロックする, 43
- スパークプラグ, 145
- スピードメーター, 17
- スプリングプリロード
- 調整する, 11, 58

そ

- 走行可能距離 (リザーブレベル), 47
- 走行前点検, 71
- 装備, 7

た**タイヤ**

- 充填圧を点検する, 62
- 仕様 (諸元), 143
- 承認タイヤ, 103
- トレッドの溝の深さを測定する, 102
- 慣らし走行, 73

タイヤ空気圧コントロー
ル (RDC)
警告表示, 33
操作, 51
表示, 51
ホイールリム上のラベル, 103
タコメーター, 17

ち
チェックリスト, 70
長期保管, 132

つ
ツールキット, 14
サービスセット, 94
標準セット, 94

て
点検記録, 152
電源ソケット, 11

と
盗難警報装置, 17
警告表示, 38

時計
調整する, 44
トラブルシューティング, 136
トルク, 135

な
慣らし走行, 72

に
荷物
荷物の積み方, 87

ね
燃料
給油する, 13, 76
仕様 (諸元), 139
燃料残量警告表示, 24
レベル表示, 20

は
ハザードランプ, 15, 16
OFF にする, 54
ON にする, 53
バッテリー
仕様 (諸元), 145
接続しているバッテリーを充
電する, 124
取り付ける, 126
取り外す, 126
外したバッテリーを充
電する, 125

バッテリー収納部, 13, 125
バッテリーチャージ警
告表示, 25
バルブ
一般的な情報, 113
仕様 (諸元), 146
テールライトバルブを交
換する, 118
ハイビームバルブを交
換する, 116
バルブ故障警告表示, 26
ブレーキライトバルブを交
換する, 118
フロントウインカーバルブを交
換する, 120
ポジション / パーキングライト
バルブを交換する, 117
リヤウインカーバルブを交
換する, 121
ロービームバルブを交
換する, 114
ハンドルバーフィッティング
左側面, 15
右側面, 16

ひ
ヒューズ, 145

ふ

- ブレーキ
 - 機能を点検する, 97
 - 仕様 (諸元), 142
 - ブレーキレバーを調整する, 57
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 73
 - フロントを点検する, 97
 - リヤを点検する, 98
- ブレーキフルード
 - レベルを点検する (フロント), 13, 99
 - レベルを点検する (リヤ), 13, 100
- フレーム
 - 仕様 (諸元), 146
- フレーム番号, 13
- フロントホイールスタンド, 110

へ

- ヘッドライト
 - 光軸, 62, 63
 - ハイビーム, 18
 - ポジション / パーキングライト, 18
 - 右側 / 左側通行の国での調整, 62

- ロービーム, 18
- ヘルメットホルダー, 14, 64

ほ

- ホイール
 - 仕様 (諸元), 143
 - フロントホイールを取り付ける, 105
 - フロントホイールを取り外す, 103
 - リヤホイールを取り付ける, 108
 - リヤホイールを取り外す, 107
- ホイールリム
 - 点検する, 102
- ホーン, 15
- 本書の記述について, 7

ま

- マルチファンクションディスプレイ, 17
- 全体図, 20

み

- ミラー
 - 調整する, 58

め

- メンテナンス
 - 一般的な情報, 94
- メーターパネル
 - 全体図, 17
 - メーターパネルのライト用センサー, 17

も

- モーターサイクル
 - 再使用する, 132
 - 長期保管する, 132
 - 左側面, 11
 - 右側面, 13

ら

- ライト
 - パーキングライト, 52
 - ハイビーム, 15, 52
 - パッシングライト, 15, 52
 - ポジション / パーキングライト, 52
 - ロービーム, 52
- ラゲッジループ, 65

リ

リザーブ

警告表示, 24

リヤホイールスタンド, 112

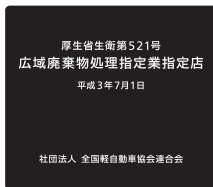
リヤホイールドライブ

仕様 (諸元), 141

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社)全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されているBMW Motorradは、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。

尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。

また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。

- シート下のフレーム等に貼付しています。



リサイクルマーク
(コード No 220)

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。
尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両が否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内 二輪車リサイクルコールセンター

電話番号 03 - 3598 - 8075
受付時間 9時30分～17時00分
(土日祝日、年末年始等を除く)
ホームページ <http://www.jarc.or.jp/>

ご購入いただきましたモーターサイクルの装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するため予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2007 BMW Motorrad

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad, After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、複製することは禁じられています。

Printed in Germany.

給油時に必要になるデータを以下の表にまとめてあります。

燃料	
推奨フューエルグレード	98 ROZ/RON, 無鉛プレミアム 95 ROZ/RON, 無鉛スーパー (出力および燃費に関する条件付きで使用可能な燃料の種類)
フューエル容量	19 l
フューエルリザーブ容量	≥4 l
タイヤ充填圧	
フロントタイヤ充填圧	2.5 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.5 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)
リヤタイヤ充填圧	2.9 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.9 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)

BMW 推奨 

P/No. 01 49 7 712 093
07.2007, 5th edition

